フハッ 第34号

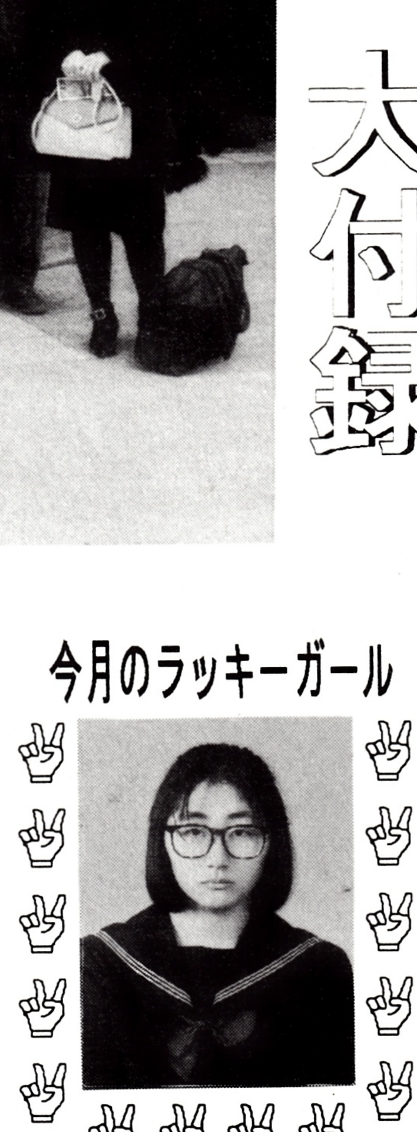
楽しさ折り紙付き



特別一大付録



今月のラッキーガール



まずは

😊嬉しい悲鳴　　　　　　　と、云うことで…

えー、毎回「フハッ」に寄せられている原稿が最近多くなりつつありまして、まぁ、会員もかなり増え、当然のことと云えば当然なのですが、嬉しい反面、困った問題を抱えつつあります。

「我々スタッフの描くスペースがないじゃないの！」それはいいとして、皆様より頂戴している会費で遣り繰りできるページ数に限度があり、これまで投稿が「没ナシ」を売り物にしてきた「フハッ」が「没もやむなし」にならざるをえません。（増刊にするにも限度がある）

これは飽く迄も、「フハッ」入稿までに集まった原稿が、一冊に納められなかった場合のことで、入りきれば当然「没ナシ」は変わりません。（例外もある）

原稿が入りきらなかった場合の「没」対称として

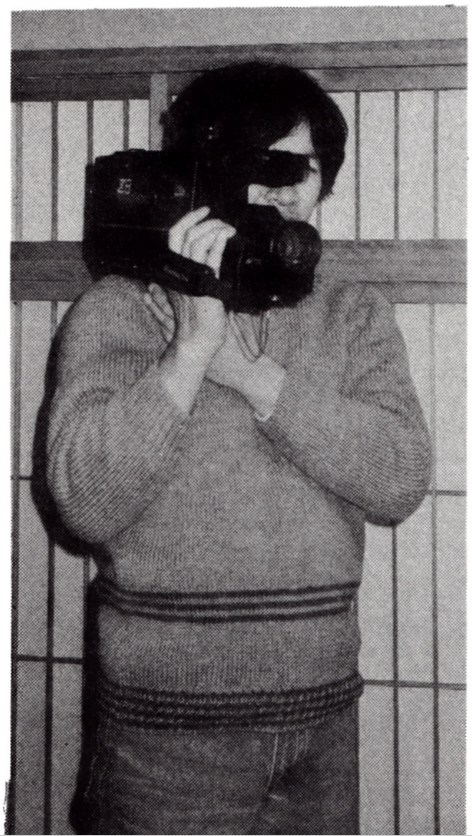
① スタッフの原稿を減らす。（会員第１の「フハッ」だからね！）
② 水木しげる先生以外を扱った原稿。（特に、他の怪奇漫画家に関する原稿、賛美など）
③ 意味不明の原稿。（明らかに一部の人の受けを狙った原稿等。だから、スタッフの原稿は減らす）
④ 支離滅裂な文章。（何を言いたいのかわからない文章等）
⑤ 個人攻撃。（文章や絵などで個人や団体を攻撃するのは辞めましょう）

例外は別として、極力「没」はしたくないので投稿は辞めないでくださいね。

✎スタッフへの御応募ありがとうございました。

年賀状などで募集しましたスタッフへの御応募、たいへん沢山の方からお便りをいただきまして感謝しております。これ迄のスタッフに加えNo.33 佐々木智美、No.125 森田元弘、No.144 高井俊幸、No.165 吉田温代、No.167 佐々木卓、が新スタッフとして活躍します。どうぞよろしくお願いします。また、その他のスタッフに希望された方もまたいずれということで、この場を借りてお礼申します。ありがとうございました。

いや～、ど～も～。AVカメラマンの
幸治亮で～す。
馬場さ～ん、ダイヤモンド映像でも
頑張りますから～。



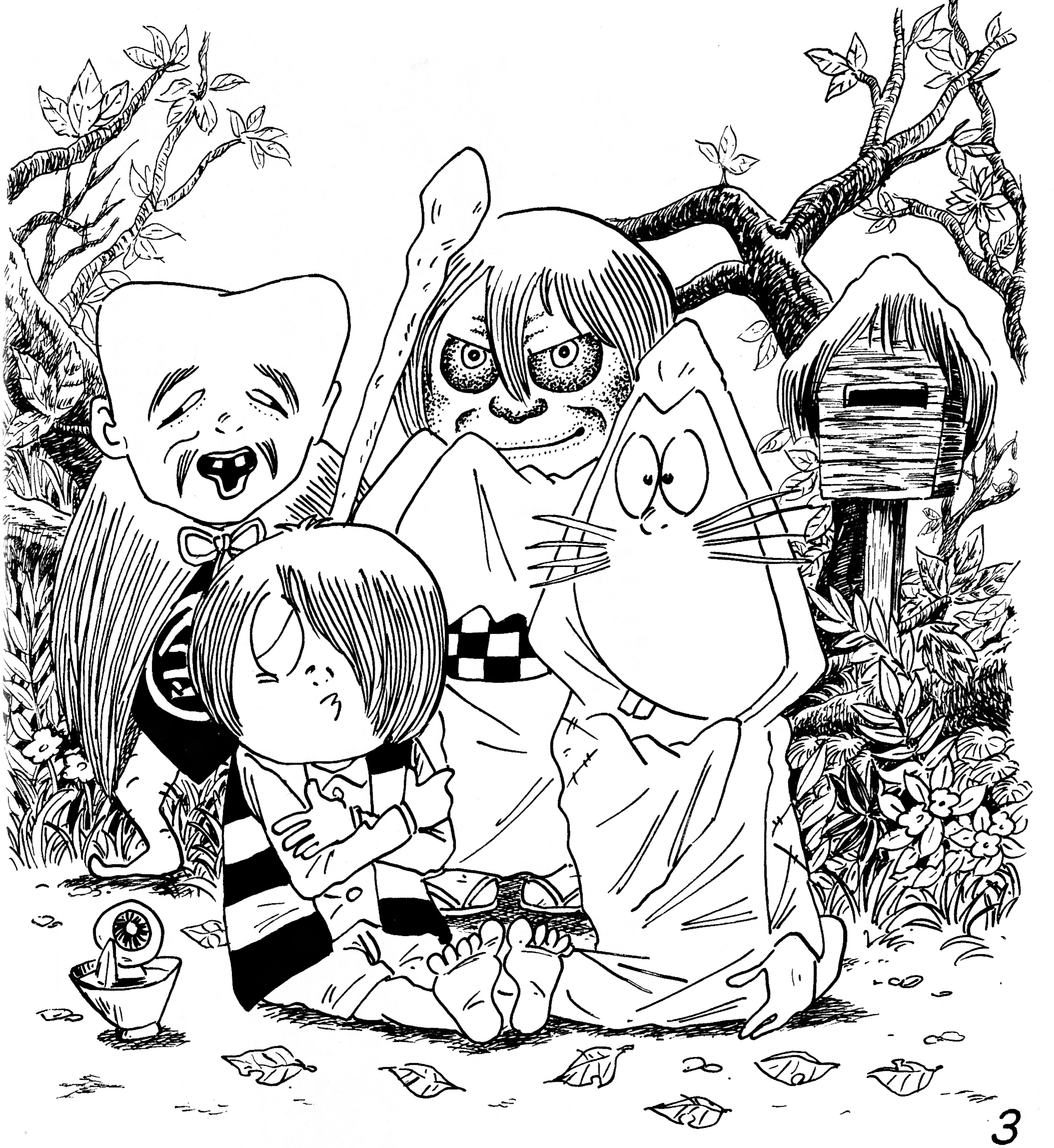


No.164　吉田良恵

No.145 栗本 典明

水木伝説

お化け旅行 in Winter



水伝お化け旅行in Winter
『水木しげると日本の妖怪展』ツアー

開催日／平成６年２月５日（土）～６日（日）
開催場所／神戸市立若者の家

★参加者一覧★

馬場　茂幸（兵庫県神戸市）
北迫　耕治（兵庫県西宮市）
米吉　和久（兵庫県神戸市）
竹本　未礼（兵庫県尼崎市）
瀬戸　信行（兵庫県神戸市）
竹内　丈（東京都八王子市）
栗本　典明（和歌山県有田郡）
高井　俊幸（大阪府岸和田市）
奥藤　隆裕（兵庫県赤穂市）
川口　彰敬（大阪府吹田市）
笠井友紀子（香川県大川郡）
吉田　温代（兵庫県西宮市）
吉田　良恵（兵庫県西宮市）

※以上１３名
（男性１０名、女性３名）

art
top picks
meets regional monthly top-picks art



↑水木しげる「あかなめ」

今も妖怪と身近にいる水木しげるが日本画に潜む妖怪たちの世界に誘う。

水木しげるは妖怪のことを「妖怪さん」と呼ぶ。決して呼び捨てにしたりしない。このことから、彼がどれほど妖怪たちと親しんでいるかが窺えるだろう。

『のんのんばあが案内する・水木しげると日本の妖怪展』には、水木の描いた妖怪画をはじめ、妖怪や幽霊を題材にした浮世絵や絵巻なども展示される。古美術のなかには、ひどいデッサンの拙い絵も混じっている。

だが、この展覧会で作品の制作技術の優劣を語るのは筋違いだ。妖怪画に関して、絵の上手下手は大きな問題ではない。かんじんなのはその絵の作者が妖怪を本当に見たかどうか、霊を感じたかどうかだろう。水木によると「霊が絵師を使ってどれだけのものを描かせたか」も妖怪画鑑賞のポイントだそうだ。

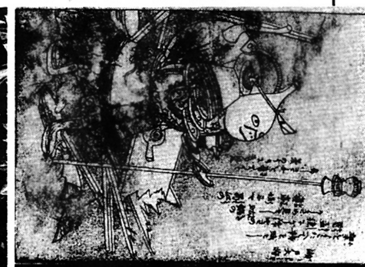
〝霊〟が要点である絵画などというと、「眉ツバもの」と決めてかかる不届き者もいるだろう。だが、それは誤解だ。美術なるものは、昔から〝神〟や〝仏〟を題材にしてきた。西洋美術史をキリスト抜きに語ることは不可能であるし、日本彫刻史では仏像を無視できまい。つまり、美術はある面で霊との交流からの産物ともいえる。なにも神と妖怪を同一視することはないまでも、目には見えないけれども人々の心には確かにあるものを表現するという点では、妖怪画も美術の本質を備えている。

だから、妖怪画をキワモノ扱いしてはならぬ。とりわけ、水木しげるの描く妖怪はわたしたちをあちらの世界へと誘う。というのも、水木は〝実在する〟妖怪のみを描いているからだ。オバQやベムなどとは明らかに異なり、彼の描く妖怪たちは創作したキャラクターではないのだ。なお、〈近代〉美術館で開かれるこの展覧会には、そうした霊との交流よりも美術的価値が勝る、水木のいうところのデマカセ妖怪骨董画も出品されているそうだが、そいつは参考程度にとどめておくべし。だって、妖怪さんに申し訳が立たないではないか。

●新川貴詩（編集者）



↑水木しげる「ガラッパ」



↑鳥山石燕「画図百器徒然袋」瀬戸大将

のんのんばあが案内する水木しげると日本の妖怪展
▶兵庫県立近代美術館
2/5(土)～3/21(祝)　一般当日1,000円
月曜休　☎078・801・1591
※関連レクチャー、辻惟雄「日本のお化けとアニミズム」(2/20)、楠爪神也「化物屋敷考――恐怖はいかに遊戯化されたか」(3/6)あり

『ミーツ』より



緊急対談
水伝お化け旅行の傾向と対策

馬場茂幸　【会　長】
米吉和久　【イベント企画部長】
瀬戸信行　【編　集　長】

※極度の関西弁には、（）内に標準語の訳を入れています。

馬場茂幸：お二人さん、本当にご苦労様でした。本日は、先日行なわれた「妖怪展ツアー」の反省と、七月に予定されているサマーイベントの企画について考えていきましょう。
米吉和久：夏はイベントをやらん！（夏はイベントを行ないません）
瀬戸信行：といいつつも、すでに企画部長はイベントのための有給休暇を申請しているんだな、コレが……。企画部長、有給は残ってます？
米吉：よおけあるよ。（沢山残っています）
一同：………………。
馬場：えぇ～。彼は毎年あんなことをいっていますが、一番楽しみにしているんですよ。
瀬戸：口癖のようなものですね。
米吉：ソヤね。（そうですね）
馬場：ですから気にせず、「妖怪展ツアー」のＢｅｓｔ５でも、やってみましょ～か。
瀬戸：ほんじゃ、**第五位！**
米吉：♪♪ジャン♪♪（ファンファ～レのつもり）

第五位　若者の家が、妖怪城と化す！？

瀬戸：毎年、イベントの開催地兼、宿舎に利用している神戸市立若者の家は、妖怪の宝庫としてその筋では有名ですね。
馬場：過去三回開催したなかで、ぬらりひょんやアクション小僧が特に頻繁に出ましたね。
瀬戸：今回は、たんころりん、ぶるぶる、日照り神がいっしょくたに出ました。
米吉：クタクタやな～。（疲れたなぁ）
馬場：それらのうち、日照り神とぶるぶるというのは、宿舎内では、暖房をガンガンきかせて、灼熱状態。ところが、トイレにいくために一歩外へ出ようものなら、真冬の山奥だから寒いの寒くないのって、ロシア人もビックリ！まさに、妖怪ぶるぶると、日照り神が一緒にきたとはこのこと。特に二日目の朝食の時には、未礼くんひとりが体をぶるぶる震わせながら食ってましたもんね。
米吉：あいつシャブ中や。（あの人は、麻薬中毒だ）
瀬戸：さらに、管理人の親父が、釣瓶おとしにそっくりだということが判明しました。目元から眉毛の辺りがそっくりでした。新発見です。
米吉：あいつ酔っ払いや。（あの人は、よくお酒を飲む人だ）
瀬戸：今回は、ストーブのうえで鍋焼きうどんを作っていました。

第四位　新公認競技？ 風船バレークイズ大会

米吉：残念じゃ。（あぁ、残念だ）
瀬戸：何が残念なんですか？
米吉：ファンファ～レあれへんやん。（ファンファーレがないではないですか）
一同：………………。
馬場：誰が考えたんですか、風船バレーなんて。結構盛り上がってましたが……。
瀬戸：私が、イベントへ行く前に、文房具屋によったら風船を売っていたんで、なにかの罰ゲームにでも使えないかと思って買っておいたのです。
米吉：ホ～、サヨカ。（ほぅ、そうですか）
馬場：実は、あの時私は、妖怪クイズ大会をやろうと思ってはじめたんですよ。ところが企画者の瀬戸と米吉のバカヤロは、問題を考えていなかった……そこで、私が色々と知恵をしぼって、即興で問題を考えて出題しはじめましたが、私の努力を無視してアホゥの瀬戸が、つぎつぎと風船を膨らまし、みんなでバレーボールをして、楽しんでいるわけですよ。私の立場は、いったいどうなるのでしょう？
瀬戸：はいっ、四個飛ばしました。エライデショ。
馬場：私は腹いせに、一番はじめに風船を落とした人に罰ゲームをあたえてやりました。あめだま十二個を頬張って“ナイナイ音頭”を歌ってみろ～。
瀬戸：罰ゲームをくらったのは誰でしょう？
米吉：わいや！ババはん、お陰さんで翌朝起きてションベンしたら、蟻がたかってもうた。（私です。おかげさまで、翌朝起きて小便をしたら、蟻が集まってきてしまいましたよ）
一同：………………。
馬場：それは申し分けないことをしました。
瀬戸：この風船バレークイズ大会は、好評につきサマーイベントでも行ないます。



白熱の風船バレー！
◎回転レシーブを決めるのは、香川から参加の笠井さん。（左から三人目）小学生も頑張る。（左端）「私の苦労したクイズ大会は何処？」と、呆然の馬場会長。（右から四人目）Jリーグに負けるな！次のブームは風船バレーだ。

第三位　イベント史上最低のマズイ朝食

瀬戸：あれ？朝食の係は、マミーの吉田温代さんではなかったのですか？たかがサンドイッチで主婦してる人が失敗したりはしないでしょ。

米吉：ソウヤ。（その通りですよ）
瀬戸：吉田マミーさんが作ったはずのモノがマズかったのはなぜですかねぇ、馬場さん？
馬場：そうなんですよ、実はですねぇ、米吉くんがAからC地点、その間のB地点で、トースト用のパンを買ってたんですよ。
米吉：コメンネ。（ゴメンナサイ、お米売り切れてるんですよ）
瀬戸：そうじゃなくて、タマゴサンドの味が無かったのは、なぜか聞いているんですよ。
馬場：だ・か・ら、トースト用のパンはC地点からB地点の……。
瀬戸：その話ではなくて、タマゴサンドの下拵えをしたのは、馬場さんだったでしょ。
馬場：外米はマズイ！！
瀬戸：一生懸命誤魔化そうとしても遅いですよ。みんな知っているんですから。塩を入れ忘れたのが馬場さんだってことを……。証拠写真もあるんだっ、べらぼうめぇ！
米吉：チョンバレヤ。（完全に外米になった）
瀬戸：だから、吉田さんは悪くないんですよ、ハムサンドは塩気があっておいしかったですから。すべて馬場さんが悪いんです。
馬場：ちょい待てぇ、この写真、お前と未礼も写っとるやないけ！
瀬戸：タハッ！



これが問題の証拠写真

◎楽しそうにタマゴをかきまぜる三人。
後で、とんだハプニングがあるとも知らないで……。
普段、奥さん任せで食べる専門の馬場会長。（右）普段、お菓子ばかりボリボリ食べている竹本未礼。（中央）普段、自炊しているもののロクなものを食べていない瀬戸信行。（左）マズイ朝食の犯人は、この三人。

第二位　史上初！ ビデオ上映会開催

馬場：コロンビアビデオ事業部の高見正人さんの協力で、今、巷で話題のビデオ版『妖怪画談』を発売一ヵ月以上前に皆様にお見せすることができました。
米吉：作画のタッチが、水木先生の原画を忠実に再現していて、素晴らしいですね。（ホンマ、よぉ出来とるやんけ）
瀬戸：さながら、現代の百鬼夜行絵巻を見ているようでした。
米吉：私はコレ、買いました。（ホンマ、貧乏金無しでんな～）
馬場：次回の作品も期待しています。
瀬戸：さてさて、他に上映したビデオはいかがでしたか。
馬場：まずは、会員の中島広宣さん提供の『実写版・ゲゲゲの鬼太郎』そして、オリジナルアニメ『女鍋』最後に、今や「フハッ」のなかでは、変に有名な音信不通野郎の幸治亮監督作品『サマーイベント・ダイジェスト版』の三本です。みなさん熱心に見ていました。

第一位 生で見た!! 水木先生のカラー原画百点……満点

米吉：思わず、パクッたろかな思ったけど……。（水木ロードは、よう持って帰らん）
瀬戸：先生の原画の他にも、芳年、国芳などの浮世絵師をはじめ、ちょっとマイナーな、高井鴻山等の肉筆画から、どこそこのお寺の地獄絵、宗教画まで、古来からの妖怪画を集大成したような展示で、老若男女みんな大満足。

馬場：模型の妖怪は、約十年ほど前に「ＭｏｄｅｌＧｒａｐｈｉｘ」という雑誌のなかで紹介されたものも含まれていました。私が覚えているだけで、つちころび、網きり、見上げ入道、ぬりかべ、水虎、河童、砂かけ婆、児啼き爺、一反木綿、家鳴り、べとべとさん、小豆はかり、天井なめ、あかなめ、烏天狗、ぬっぺふほふの子供……と、すべてよくできた造型で、本当にいたら、あんな姿なんでしょうねぇ。

瀬戸：水木先生の原画も、印刷では再現されないような緻密な筆使いを目の前に見せ付けられて、感動のしまくり。参加者のなかから、「原画を見てしまうと、印刷されたものなんて見ていられない」なんて声も聞こえてきました。原画の前に立つと、先生の……というより、妖怪の精気を感じることが出来ます。私は、思わず二回足を運んでしまいました。

米吉：三回行った。（三回ともパクり損ねた）

瀬戸：五回！！

馬場：約二百回行きました。

米吉：さばいうな、コノヤロ！！（アジはおいしいよ）

馬場：サマーイベントで行く、宝塚ファミリーランドの妖怪の模型も、このレベルまでもっていっていただきたいものですね。

米吉：サマーイベントはやらん。（有給ＯＫでたよん💔）

馬場：この人は、イイカゲンほっといて……。サマーイベント速報を行ってみましょう。

米吉：こんだけ決めても、絶対せぇへん。（ふるって参加してね。あぁ、今からワクワク。絶対に有給は、誰にも譲らん）



※危険！子供は真似をしないで下さい。

サマーイベント速報

１．イベント会場の変更を検討中。
　※若者の家よりも、近代的な設備の整っている場所での開催になるかもしれない。
２．参加者全員に、限定記念品プレゼント。
３．当日のみの、水木しげる限定商品の販売。
　　他、続々企画中。

お疲れ様〜の参加者の声（感想）

………は、次のページから………

先日の「お化け旅行」では、大変お世話になりました。去年の夏に雑誌「サライ」（父66才の愛読誌）で『妖怪展』の開催を知った私たち親子。（当時、水木伝説のことは知らなかった）巡回を首を長くして待っていたワケですが、こうして水木しげるＦＣのみなさまと『妖怪展』に行けるなんて、思ってもみないことでした。本当に楽しかったです。

老（？）若男女、職業も出身地もちがうひとりひとりが、水木先生の作品を通して盛り上がれちゃうんですものね。こんなに素敵な機会を与えてくださった「水木伝説」のスタッフのみなさま、本当にありがとうございました。夏のイベントも楽しみにしていますから！

Ｎｏ．１６４　吉田　温代

「お化け旅行」では大変お世話になりました。とても楽しかったです！初めてのキャンプで、始めはまごまご（もじもじ）していましたが、しばらくすると、とても楽しく遊べました。うぷぷぷぷぷ。夜に見た自主制作の「ゲゲゲの鬼太郎」の実写は、声とかなさけなくて、すぐやられたりして面白かったです。オークションの時、目玉親父のスリッパを買えた時はとてもうれしかったです。どーもありがとう！ラララー。トイレにいく時、お母さんと一緒にいきましたが、花子さんがでそうで、とても恐かったです。ドキドキ。あと、妖怪クイズとふーせんをパンパンするゲームも面白かったなー！一生懸命だったので、熱くてしんどかっです。はい。

「妖怪展」は、いろいろ面白いのがありすぎて、足がくたびれてしまいました。フーッ！妖怪の人形は、ほんとーによく出来ててビックリ！水木先生の作品に感動！

いろいろな思い出がたくさんできました。みなさまドーモありがとうございましたー！！

この４月で小学６年生になる、Ｎｏ．１６４　吉田　良恵

今回の“お化け旅行in Winter”に参加させて頂き、本当に楽しい二日間を過ごさせて頂きました。スタッフの皆様、本当にありがとうございました。

このイベントで楽しみにしていたのは、美術館での水木先生の原画を拝見できるという事はもちろんですが、同志が集まり、水木談義ができる事（今までこういう風な場もなく、私のまわりにも同趣味の者がいない）を楽しみに来ました。

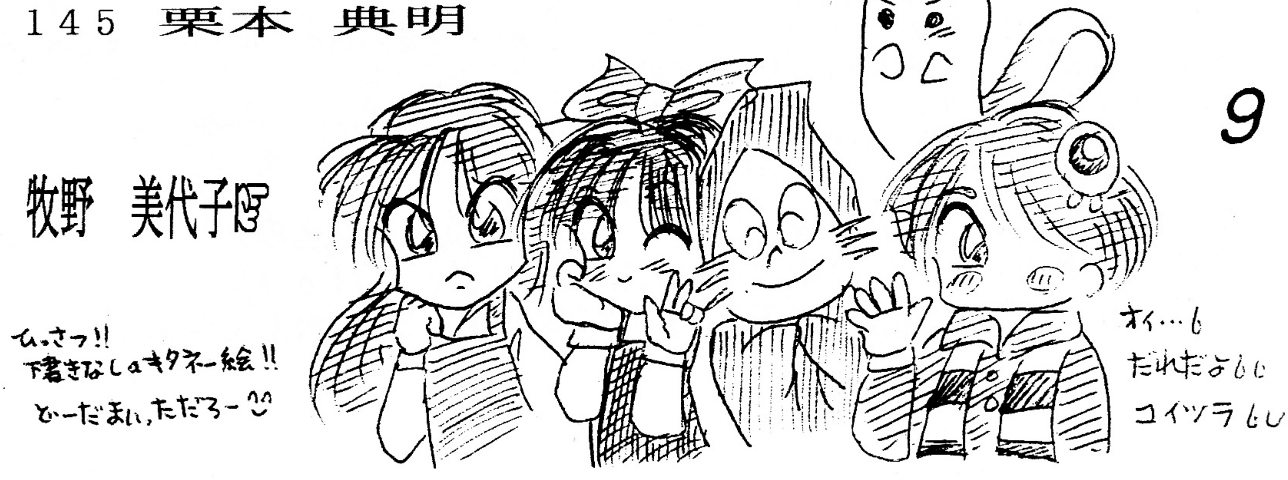
神戸市立“若者の家”にて夜七時頃になると参加者の全員が揃い、３月に発売されるビデオ版「妖怪画談」やら、自主制作によるビデオ、昨年のサマーイベントのビデオなども見せてもらい、又、恒例のオークションでは、思いがけない収穫（筑摩書房刊「水木しげる集」初版本）がありました。

夜がふけても参加者達による水木談義に花が咲き、朝まで一睡もしなかった人もいた様です。（しかし、みんなが起きる頃にねむり出した。）今回、ワイ談の花が咲かなかったのは少し残念だと、つげ義春氏（会長馬場さんはつげ義春によく似ている。）がいっていた。

翌日はねむた目で美術館に向かいましたが、到着するやねむ気もどこへやら、水木原画を見た瞬間、しばらくは感激のあまり立ちすくんでしまいました。中には貸本版鬼太郎の原稿の一部があり、又、現存するものはないであろうとさえいわれている、当時の肉筆紙芝居（猫車）が展示されているではないか!!まさに、ドギモをぬかれたとは、こういう事であろう。すごい、すごい、と心の中で何度もくり返された。こうふんのるつぼの中、作品の鑑賞を終え２日間の行程が終了された。今年の夏のイベントの参加の約束をし、スタッフ、参加者の方々との別れを惜しみつつ、おみやげ（オークションでの戦利品、美術館で買った水木グッズ）のたくさん入ったバッグの重さも何のその、和歌山への家路を急ぐのでした。

Ｎｏ．１４５　栗本　典明

No.182 牧野 美代子



ウインターイベントのお礼と、ついでにサマーイベントの協力のお知らせ

イベント企画部　伊弁当企画部夫

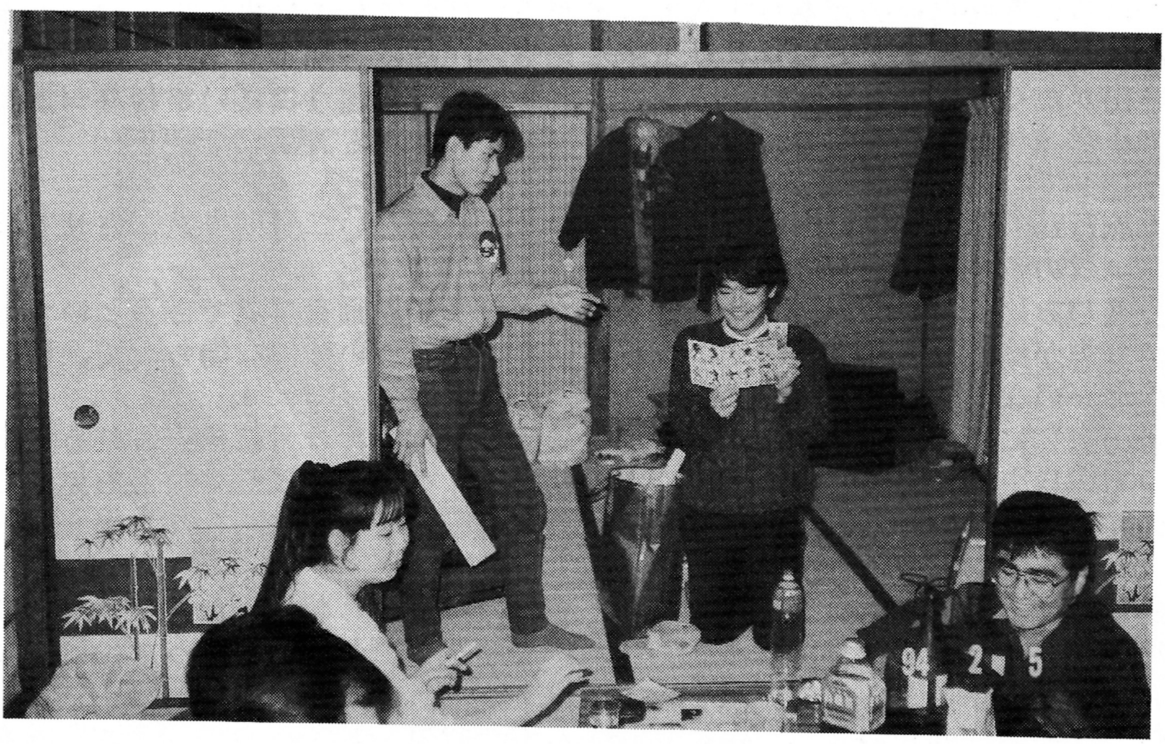
2月5日（土）6日（日）の両日に、サマーイベントならぬウインターイベントを開催しました。参加された方は、いかがだったでしょうか。

至らぬ点があった事は、どうか許してください。でも、自惚れですけど皆さんの御協力で、無事に大した事故もなく完遂する事が出来ました。本当にありがとうございましす。この場を借りまして、お礼を申し上げます。今回のイベントの感想等は、参加された会員様が、詳しくレポートしてくれる事でしょう。それが楽しみです。

さて、我々はサマーイベントに向けて準備に入ります。今まで以上に盛り上げたい、皆に想い出をつくってあげたいの一心で、ああでもない、こうでもないの繰り返しです。参加してもしなくても、こういうアイディアがあるという方は、振るってそのアイディアを送って下さい。

夏が終わっても、又、皆で集まって怪談やゲーム、更には怪談より恐しいワイ談で盛り上がりましょう。

本当に、皆様あってのイベントです。毎回成功しています。これからも皆で楽しみましょう。



☜企画部長の手にしているのは『仮面ライダーBLACK』怪人大図鑑。今年のオークションも特撮グッズを大放出

長い間お世話になりました、『水木伝説・通信販売部』が5月1日をもちまして閉めさせていただきます。理由は、在庫がな〜い　本当に長い間ありがとうございました。また、以下の物は水木伝説本部にて通信販売を行っています。

水木伝説X・妖怪百物語　￥1400(会員割引￥1000)
水木伝説・子供の国　￥1000(会員割引￥800)

フハッ・第26号〔戦記漫画特集〕
フハッ・第27号〔サマーイベント'92特集〕
フハッ・第28号〔今回は特集がなかった特集〕
フハッ・第29号〔カッパの三平特集〕
フハッ・第30号〔新聞きりぬき特集〕
フハッ・第31号〔サマーイベント'93特集〕

※一冊、送料込みで400円。二冊、600円。三冊以上オール800円。また、切手での申込みも可。

フハッ・増刊　「音信不通」　￥500(送料込み)
フハッ・増刊　水木しげるロード大特集　￥600(送料込み)

〒654-01　神戸市須磨区北落合3丁目38番地217-709　水木伝説本部

不定期連載
勝手にごっこ

ろと、武内タケシ、





たわりしち



こんにちは！「妖怪展」ツアーで買った、バックナンバーの「水木伝説」（ムーラちゃん・音信不通・子供の国⇒娘のお気に入り！悪魔くん⇒一緒にのっている他のマンガや商品広告までなつかしかったです）と、オークションで買った古本（●河童の三平①巻⇒ちくま文庫でカットされた部分が入っててうれしかった。●死神大戦記〈上〉⇒はじめて読んだので続きが知りたい。でも売ってない）も、ようやく読みました。ほんと面白かったし、いろんな発見もあって（悪魔くんを読んだ記憶がスッポリ抜けているのは何故かと思っていたら、実写版１回目を見た恐ろしさのあまり、読まないようにしていたのでした。あれは本当にコワかった。）水伝サマサマであります。

No.１４０　長末靖子　　　No.１６４　吉田温代

忘月忘日
「悪魔」ちゃん騒動にはおどろきました。でも、山田真吾か、松下一郎という名前にすれば、小学校に入ってから、必ずや「悪魔くん」と呼ばれるようになったのにね。「悪魔」ちゃんの父親も、もう少し考えればよかったのにね。

忘月忘日
「小説新潮」３月号、呉智英さんのエッセイ『わが師の恩』（☆１）を読む。
呉さんは、水木作品の解説をたくさん書いているし、『バカにつける薬』（双葉社’88）で、水木さんの自伝を、読まずに書評を書いた、内藤陳を痛烈に批判している。
「水木しげるには、活字による自伝が四種類ある。対象読者の年齢によって内容や表現が少しずつちがえてあるのだが、素材と思想は、むろん基本的には同じである。その評価が、ちゃんと読んだにしては、どうしてこうも正反対に変わるのか。（『お父さんの戦記』─わかったわかった。帯に笑って聞いてくれればいいとあるが、何か繰り言じみてツカレタノダ。『ねぼけ人生』─活字でこんなに面白いなら水木さんご本人と酒飲みながらナマで話を聞きたい……と思わず酒屋に走った本なのだ）内藤陳よ、読まずに言えるか」
それ以来、私は、呉智英さんを、密かに「水木しげる無条件擁護派」と読んでいる。
『わが師の恩』で、呉さんは、水木さんを「虚無的とも言える楽天主義」と評しているし、また、『現代マンガの全体像』（情報センター出版局’86　史輝出版’90）では、「時には裏切り者にさえなりかねない俗人たちが、しばしば生き生きと描かれる。ネズミ男、情報屋、といった登場人物である。彼等を描かせるのが、水木の明るいニヒリズムなのである。社会からの疎外はニヒリズムを生み、それがもう一度ひっくり返って明るいニヒリズムとなる」と評している。ウーム、水木ファンは、ニヒリストなのかしらん。

忘月忘日
石子順造さんの『戦後マンガ史ノート』（紀伊國屋書店’74　復刻版’94）を読む。絶版になって久しかった名著であるが、やっと復刻された。
この『ノート』と、『現代マンガの全体像』をトータルな目配りとして読み、70年代以降については、村上和彦、高取英、米沢嘉博共著『マンガ伝』（平凡社）でマンガ史を確認し、さらに、「ＣＯＭＩＣ　ＢＯＸ」の「まんが総決算」を毎年補充すると、日本のマンガ全体像を知ることができる。（ただし、「ＣＯＭＩＣ　ＢＯＸ」は、開店休業中）

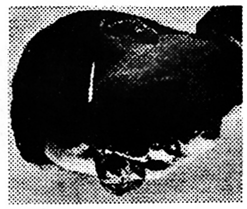
忘月忘日
いしかわじゅんさんが、２月１８日付の「産経新聞」に書評を書いていた、桜井昌一さんの『ぼくは劇画の仕掛け人だった　上・下』（エイプリル出版’78　東考社’85）を読む（☆２）東考社は、貸本時代の水木作品をたくさん復刻している出版社。東考社の復刻本は、他の出版

（☆1）

わが師の恩

虚無的な楽天主義

呉 智英



もう四半世紀近い前、私がまだ学生だった時、知人の紹介でマンガ家の水木しげるさんのもとに出入りするようになった。当時多忙をきわめていた水木さんの資料整理のアルバイトである。月に一、二度、水木プロを訪れ、水木さんの厖大な蔵書の中から数冊借出し、それを読んでマンガに使えそうな話を抜き書きするのだ。通いのアシスタントといったところだが、生意気ざかりの私は他のアシスタントのように「水木先生」と呼ぶこともなく、好きに資料を持ち出しては水木さんと直に話ができるという境遇を満喫していた。

とりわけ、水木さんとの会話が楽しかった。このアルバイトは大学卒業後もかなり長い間続けたが、ひとえに水木さんの薀蓄を傾いた話が楽しかったからである。

一九七七、八年ごろだろうか、ある日訪れた私に、水木さんは南方の島を旅行した話をした。周知のように、水木さんは戦争中にラバウルで爆撃によって半死半生の目に遭い、左腕を失っている。その時、やせこけた傷病兵となった水木二等兵を歓待してくれたのがラバウルの土人たちである。土人たちはバナナをくれ、芋畑を作ってくれ、嫁の世話をしようとまで言ってくれた。水木二等兵はその時の友情を忘れず、戦後二十余年を経て島を訪れ、交流は再開したのだ。

「しかし、自分は……」

と水木さんは好物のコーヒーを飲みながら語る。「自分」というのは水木さんの一人称だ。

「自分はその時まで、なんでみんなかつての戦地に行こうと思うのか、わからんかったです。辛い記憶のある戦地ですよ、そこに、戦後二十年ぐらいして生活も安定してくると、みんな行こうと思うんですなあ」

水木さんはコーヒーを一口すすった。

「激戦の場所に立ってみて、自分はやっとわかったですよ。ここで戦友たちが死んでいった、自分はしかし繁栄の日本で生きている、こう思うとですなあ」

私は水木さんの次の言葉を心の中で想像した。一人生き延びた罪責感、亡き戦友たちへの鎮魂の思い、平和への祈念……。だが、水木さんの口をついて出た言葉はちがっていた。

「みんな死んでしまったのに、自分は生きていると思うとですなあ、愉快になるんですよ！ それでみんな行くんですよ」

虚無的とも言える楽天主義。そういうものが存在しうることを教えてくれた水木さんはやはり「水木先生」なのである。

（くれ・ともふさ 評論家）

（☆2）

いしかわじゅんが読む

「劇画風雲録
ぼくは劇画の仕掛人だった」㊤㊦
桜井昌一著（東考社・各824円）



桜井昌一は、貸本時代の劇画家だ。同じく劇画家の辰巳ヨシヒロの実兄でもある。

桜井は途中で自分の才能に見切りをつけたのか、昭和三十七年に劇画をやめて、東考社という出版社を始めた。自称、日本で一番小さい出版社だが、変な本を出す貴重な出版社だ。水木しげるの貸本劇画の復刻が多いが、売れっ子劇画家だった佐藤まさあきの自伝なども出している。その佐藤の自伝『劇画私史三十年』もぜひ紹介したいもののひとつなのだが、今回は、東考社桜井文庫に桜井昌一自身が書いた『劇画風雲録 ぼくは劇画の仕掛人だった（上・下巻）』を紹介したい。たぶん、まだどこかで手に入れることはできると思う。

ここ数年、漫画劇画の草創期について書かれた本がいくつか出ている。昭和二、三十年代に現場にいた人たちの自著、あるいはその人たちからの聞き書きなのだが、その多くは、手塚治虫を中心とする表舞台について書かれたものだ。大手の出版社を舞台とした、スポットライトが当たり、金銭的にも恵まれた華やかな部分のものだ。手塚と並行して大量に登場し、その後の日本の漫画劇画界の大きな波となった、大阪から始まり、のちに東京に中心を移した貸本劇画界について書かれたものは少ない。

桜井は、まさにその時期に、貧しさの中、劇画家を目指し、同志と共に励まし合い肩叩き合い底辺を経巡り、明日の成功と栄光を夢見てのたうち回っていたのだ。

上巻は、自伝だ。漫画好きの少年時代から、持ちこみを始めてプロになり廃業するまで。それに、ほかの貸本劇画家や編集者の日常の生態。下巻は、水木しげる・滝田ゆう・佐藤まさあき・水島新司・山上たつひこ・永島慎二・つげ義春の七人の貸本から出発した漫画劇画家の評伝になっている。

どちらを読んでも、貸本劇画界が当時持っていた猥雑だが奇妙で驚異的に逞しいエネルギーには圧倒される。劇画家だけではない。その貸本を編集し出版する側も、一緒になって必死で生活を賭け、泥沼を這い回っていたのだ。

彼らが作っていたのは、おそらく芸術ではなかった。しかし、彼らが持っていた、新しい表現への意欲、金銭的成功への熱望、そういった形而上下併せ持った膨大な、行く先さえもわからずどろどろと蠢いていたマグマのような情熱こそが、結果として、のちにこの国の文化をも変えたのだ。

その場に立ち会った数少ない証言である。お楽しみいただきたい。

（いしかわ・じゅん＝漫画家）

社から出ているものも多いが、「資料」として、また、他人に見せびらかすのに、そして、御贈答用に、重宝すると思う。

「ぼくは何事も革新はできあがった秩序の修正や手直しからは生まれず、どろどろした異端なものの中から発芽するものだという確信をもっている」けだし、名言である。

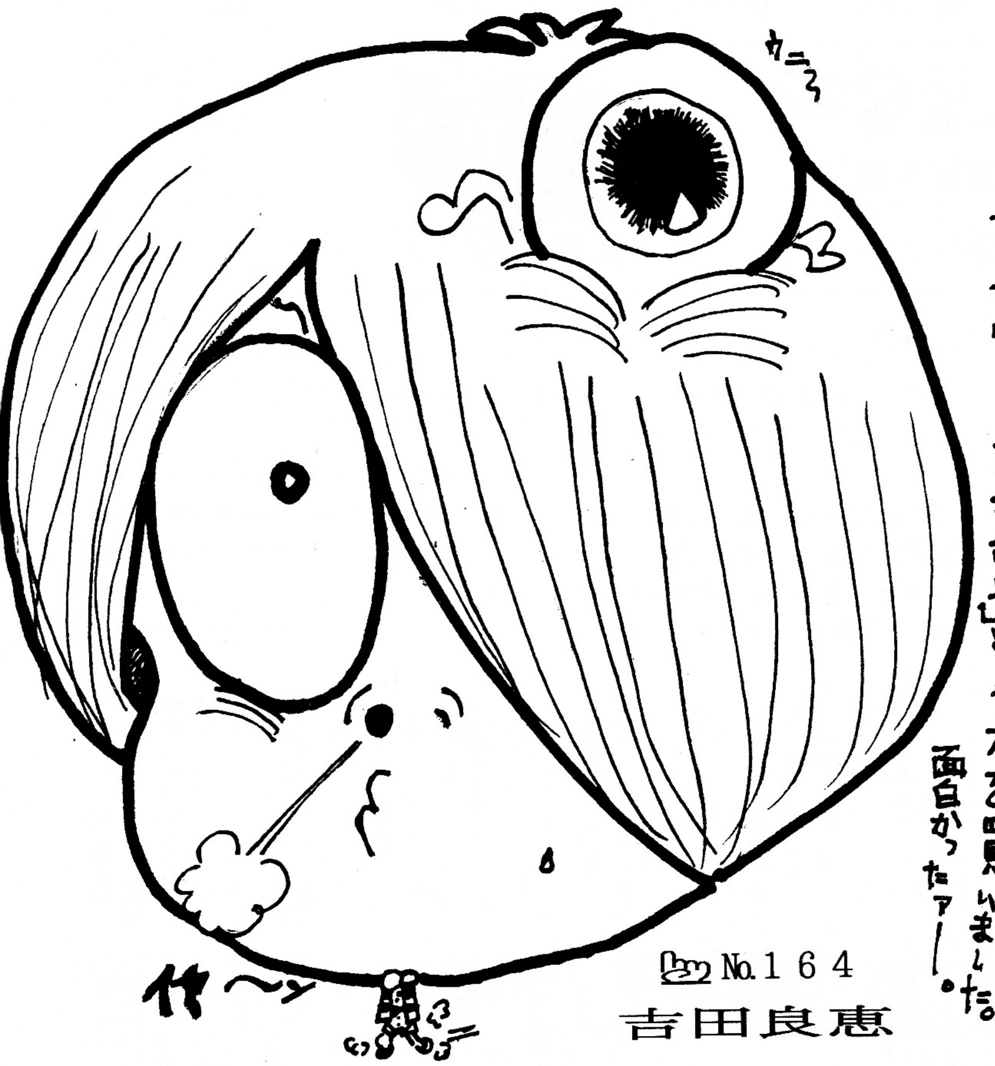
さて、『ぼくは劇画の仕掛け人だった』下巻は、「劇画人列伝」と銘打って、水木しげるさんをはじめ、滝田ゆう、佐藤まさあき、水島新司、山上たつひこ、永島慎二、つげ義春の各氏の評伝。解説は、長井勝一さんという豪華版。「たぶん、まだどこかで手に入れることはできると思う」。

忘月忘日

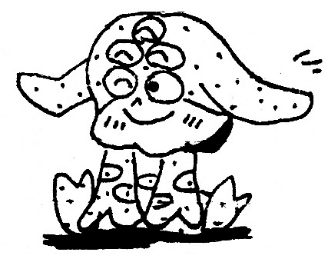
山本おさむさんの『ペンだこパラダイス』（「週刊漫画アクション」連載）を読む。山本さんは、この数年、『遥かなる甲子園』（双葉社）、『わが指のオーケストラ』（秋田書店）、『どんぐりの家』（小学館）と、「聴覚障害者」とその家族や教師たちを主人公にしたマンガを描いていたのだが、今回は、山本版『まんが道』。単行本になるのが待ち遠しい一冊。

ということで、水木ＦＣのますますの発展を期待しつつ、次回へ続く。

９３．３．２５　　　　　　　　№９９　猿田誠一



№１６４
吉田良恵



№１８２
牧野美代子

「フハッ」バックナンバー読みました。一年ほど前、アニメ３作目の鬼太郎について、みんなで取っ組み合いの流血論争をしたそうですが、（してないって）新参者の青１．４才ぐらいのボクはというと「実写だろうがモノクロだろうが現代風だろうが紙芝居だろうがスーファミだろうが、何でも好き好き魔女先生。」（あと絵本とかパロディとかもネ。）と、ゆー訳でして。世の中にはこういう人間もいるのです。けど、よ〜く考えてみれば、スーファミ版って、水木センセのファンという目線で見れば確かに値千金なのですが、ゲームとしては、そーさ性は悪いし、（動きをリアルにしすぎた）ストーリーも変！（ゴジラＶＳキングギドラもそーだけど、タイムパドラックモノって、ど〜してもムリが出るもんなァ…。バック・トゥ・ザ・フューチャーはよかったけどネ。）アニメにしても、いかに原作の持味を出せるか！という点に注目する人と、アニメと原作は別モノ、と考える人とか、十人十色、百人一首、一石二鳥、千差万別（だれが平成教育委員会をやれといった。）だもんなぁ〜。

ま、そんな訳で、ボクは３作目と、ファミコン版、好きですよ。何で？と聞かれても困るけど、あえて言うなら青春の日々を３作目の鬼太郎とファミコンで過ごしたからでしょうかね？（未青年のくせに何を言っとるか。今年の６月でハタチになるけどね。）

№１６７　佐々木卓

こんな所にも水木キャラ②





Sound of Mizuki Shigeru

サウンド・オブ・ミ〜ズキシゲル

鬼太郎音楽集テープがほしいです！

このテープはぜひ聴きたい。特に「カランコロンの唄」を大音量で聴きたい。中古で買おうとしたんだけど、なにせ高い！複刻版ＣＤでも出ないかな…。何言ってんのかわかんないけど、よろしくお願いします。あーあーそれから、聖飢魔Ⅱの鬼太郎の歌(「ゲ・ゲ・ゲ」)はＣＤには収録されていなくて(アーティストイメージと合わないかららしい)、ライブ(ミサと言う)でのみ演奏されます。ライブビデオ「Ｂ・Ｄ・１０武道館 THE WORST BLACK MASS TOUR」に収録されていますが、「Ｇ・Ｇ・Ｇ」というタイトルで、少しだけいつもとちがいます(たしか途中でゴジラが出てくる)。あとナゴムレコードというインディーズの会社から出てる「人生」(電気グルーブの前身)というユニットの「SUBSTACE Ⅲ」というＣＤに「カランコロンの唄」が入っていて、こっちもおススメです。

№１３８　岸本倫太郎



を語る愚か者を引き裂く Creeping Twilight
を吊す鎖張りの空から Creeping Twilight
歪んだ時 歪んだ影 歪んだ夢 歪んだ街
愛を語る愚か者を引き裂く Creeping Twilight
に引きずられ Moving to dark
死神が笑う Breaking your life
This Twilight ain't forever 暗闇が動き出す瞬間
This Twilight ain't forever 黄昏は止まらない Golden child
忍び寄る闇 忍び寄る影 迫り来る闇 迫り来る影
傷付いた夢 傷付いた時 燃えあがる街 燃えあがる空
泣き叫ぶ街 泣き叫ぶ声 血まみれゲ! ゲロゲロのゲ!

✝G・G・G

作詞：水木しげる
作曲：いずみたく
編曲：聖飢魔Ⅱ

ゲ・ゲ・ゲゲゲのゲー みんなで歌おうゲゲゲのゲ
ゲ・ゲ・ゲゲゲのゲー 朝は寝床でグーグーグー
楽しいな 楽しいな 楽しいな 楽しいな 楽しいな 楽しいな
悪魔にゃ学校も 試験も何もない
ゲ・ゲ・ゲゲゲのゲー 夜は墓場で運動会
楽しいな 楽しいな 楽しいな 楽しいな 楽しいな 楽しいな
悪魔は死なない 病気も何もない

みんなで歌おうゲゲゲのゲ みんなで歌おうゲゲゲのゲ
みんなで歌おうゲゲゲのゲ みんなで歌おうゲゲゲのゲ
みんなで歌おうゲゲゲのゲ

白い奇蹟

作詞：デーモン小暮
作曲：エース清水
編曲：聖飢魔Ⅱ

はしゃぎ疲れて 胸の熱奪う妖精よ
月明りさえ 忍び足で朝を招く
傷ついた羽を広げ 無理して翔んだあの頃

日東・妖怪系図・ひとロメモ



第32号で“「日東妖怪」の特集やります”と書いたら、期待して下さった方もいらっしゃった様でホント恐縮しています。
２～３月一杯は入試があったりして忙しいので、“４月から始めようかな”なんて思っていたのです。でもなんか、あまりにも遅いかなぁという気もしますので、“メモ”という感じに今回はやるつもりです。

まず、日東キットシリーズの全ラインアップだと思われるものを次にあげてみます。参考はキットの設計画にのっている「妖怪瓦版」及びＨ・Ｊの絶版キット店の広告です。キット捜す時の参考にして下さい。

日本妖怪系図シリーズ

1、油すまし（イラストは他の画家）			Ｂ６大の大きさの箱
2、からかさ	〃		〃
3、小豆あらい（水木イラスト）	大学ノート大の大きさの箱		
4、呼ぶ子	〃		〃
5、ねずみ男	〃	(い)マーク入	〃
6、児なきじじい	〃	(ろ)マーク入	〃
7、砂かけばばあ	〃	(は)マーク入	〃
8、鬼太郎・森の合唱編	〃	(に)マーク入	〃
9、〃 妖怪獣編	〃	(ほ)マーク入	〃
10、ざしきわらし	〃		〃
11、河童列伝	〃		〃

全体に茶を基色としたシックな箱に入ってます。（いかにも古びたものという感じ）妖怪カードが入るのは ４、呼ぶ子以後のキットの様です。この“妖怪系図シリーズ”の後を受けて次の“妖怪ヤンチャ倶楽部”が登場します。

妖怪ヤンチャ倶楽部

1、キジムナー	水木イラスト風のコミカルな絵柄	オマケ付	Ａ５大の箱
2、白ぼうず	〃	〃	〃

前回のシリーズとはがらりと変わった、“一見子供向けのおも

◎ところで、日東がつぶれた後、（ヤンチャクラブ）妖怪系図の金型は引き取り手がなく、廃棄処分になったとかいう話です。

ちゃ”といったカラフルでコミカルな箱に入っています。そのため、出ていることに気付かれずに見すごされた方も多いのではないかと思われます。

この箱なので、チェックし➡てみて下さい!!１コ300円



こういう箱に入ってます。　78%縮少

オマケは、からかさとキジムナーとしろぼうずをあしらった“定規シリーズ”とシールがついてました。

次回の日東妖怪は「白ぼうず」をとりあげる予定です。

❀　❀　❀

こういうのを書いていると“蛙はプラモが上手”と思って下さっている方がおられるかも知れませんが、それとは正反対で、はっきりいって、ド級のヘタクソです。(只今H・J等で修業中。といっても受験で禁プラなので、読むだけ♪です。)4年前、いきなり河童を造って失敗ばかりやらかし、ついには一匹の河童さんがギセイ者に…。妖怪獣編でった一反木綿の如く機会をみて蘇らせるつもりです。

プラモ造りが初めての人は、タミヤから出ている「モ子ちゃんのプラモ製作ガイドブック」及び「塗装ガイドブック」がお薦めオールカラーで各300円

また、やや高度なテクニックを知りたい方にはH・Jから出てます「プラモ大好き」(初級編・中級編)各二千円がお薦めです。

(私信）佐藤様

妖怪系図の紹介されているH・J、85年度　2冊だけあります(新製品紹介）に呼ぶ子と鬼太郎、女の子にキットを造らせようという特集で児なき爺が使われたものの前編のみです。またそれぞれのキット紹介の時に載せます

しかしながら、“白ぼうず”のあと“べとべとさん”“つるべ火”が出る予定だった様ですが結局出なかったのでしょうか？ねずみ男やメフィスト版“黒ヒゲ危機一髪”ゲームプラモは見かけた事はあるのですが。



G・K(ガレージ・キット)　9000円
河童　受注生産製品（原形)松村しのぶ氏
『フハッ』32号で紹介したリアルカッパです。

◎「アサヒグラフ・水木しげるの世界」書店になくても注文すれば取り寄せてもらえます◎



自画像、変えました。

現代民話考モドキ

以前、『フハッとショック霊報図』という著者の怪奇な体験談を連載したことがありました。著者は一香田輝明一で、ネタ切れで終了しましたが連載時は大変好評でした。そして最近、東北の奇妙な男一佐々木卓一が当サークルに『フハッとショック霊報図』のような怪奇談を寄せており再び『フハッとショック霊報図』のようなコーナーを設けようと思います。まず連載第１弾を記念して今回は２本立て、寝る前に読んで下さい。

壱　子泣き

山崎の友人、毛利君の話である。彼は霊能力が強い事もあって、たびたび不思議な目に逢うが、これはその中でも彼が自信を持って語る不思議遭遇譚である。

彼は仕事の関係で長野を回っている時に、山間の畑の道に提燈がズラリと下げられているのをみつけた。

……祭りかな。

それにしては人気がないなと思いながらも車を進めていくと、突然ガクンッと言う衝撃がきた。慌てて車外に飛び出すと、なんと道が消え、彼の車はただのあぜ道の上にドデンとのっかっていた。

提燈も消えてしまっていたそうである。

中略

本題に入ろう。

以上のような彼が何を思ったのか、社会人になってまもなくの頃、突如、『奇妙な経験』をしたくなったそうである。

「思えば随分と下卑た衝動だった」

と彼は呟く。

本人によると、それはまるで事故現場を覗きに行くような、さもしい精神にかられて行動したのだと言う。理由は判らない。しかも彼はそれを自分の不思議な能力を使って確かめてみたいと思ったらしい…。

彼は東京から関西に向い事故現場や霊の出そうな場所を狂ったように巡った。

そして、ついに峻厳たる霊場のひとつである、月山に辿りついた。

バイクで山道を上がっていくが、いっこうに入り口が見当らない。そのうちに雲行きが怪しくなり始め、小雨があっと言う間にしんしんとした陰雨となった。

けぶる雨の中をバイクを押しながら行くと、ようやく小ぶりの鳥居を発見した。

……結界だ。

毛利君は鳥居が何を示すのかをよく知っていた。それが俗世との境界になっていることも。

その時、突然襲った寒気が彼の頭を下げさせた。

見ると鳥居の先が妙である。

雨が縦に渦を巻いていた。つまり毛利君に向かって口を開ける形でグングンと渦を造っているのである。

一瞬、ためらった彼は、足元に小さな人影を見つけ仰天した。
裸で蓑傘をつけた赤ん坊なのである。しかも顔は老人のそれであった。
「おまえ、ここから先はいかないほうが良いな」
と、不快げにそう告げた。
見ると渦は最前よりもずっと大きくなっていた。
足元に視線を戻すとすでに人影はなかった。毛利君はUターンして山を降りた。

「水木しげるって、絶対に子泣き爺を見たんだぜ」
彼は今でも自信を持ってそう断言する。
「……だってソックリだったもんな」
彼が妖怪に逢ったのは、今のところこれが最初で最後である。

『新・超怖い話』（ケイブンシャ）より

水木先生のキャラクターが、単なる絵空事の産物ではないというレポートである。文章は出版物よりの引用であるが、このような話を探してきた努力を評価したい。彼（佐々木卓）は根っからの妖怪好きで、同じＦＣ会員の№１３　川口彰敬を「師匠」と崇めているらしいのだ。
さて、次のレポートは「減らない修正液」の怪である。

弐　油徳利

まずは、次の文章を読んで頂きたい……

――減らない修正液――

東沢氏の修正液の話である。
東沢氏はよく修正液を使う。手書きやワープロなどのインク文字の修正に使うこの文房具は、文筆を生業にしている職業柄、手放すことができない重要な商売道具のひとつであると同時に、たいへんな消耗品でもある。
さて、東沢氏はあるとき、ふと奇妙なことに気づいた。
「そういえば……修正液、減っていないな」
仕事が仕事だけに、決してその使用量が少ないわけではないはずである。実際、結構頻繁に使っているわけだし……。最初のうちはなかなか減らないものなのだろうと決めてかかっていたため、さほど気にもならなかった。しかし、それに気づいてからしばらくの間、修正液を使うたびに注意していたのだが、やはり一向に減っていく気配がない。
そうするうちに東沢氏は、もっと重要なことに気づいた。
「そういえば……ここ数年、修正液を新しく買った記憶がないぞ」
いくらなんでもこれはおかしい。何年も同じものを使い続ければ、成分が蒸発して修正液の中身は白いドロドロした塊に変わってしまっているはずだ。仮に百歩譲って、東沢氏が気づかないうちに、親切な誰かが溶剤を使って東沢氏の愛用の修正液が減るたびに溶剤を足しているのだとしよう。それでも数年にわたって溶剤を混入し続ければ、しまいには液の成分が薄くなって、修正効果に影響が現れるはずだ。
しかし相変わらずその修正液は、買ってきたときのままの効果を保ち続け、なおまったく減らないままでいる。
さすがに気味が悪くなった東沢氏は、同じメーカーの同じ商品を買ってきて、交互に使ってみることにした。まず、最初から持っていた修正液を使い、次に新しく買ってきた修正液を使い……。
交互に使ってゆくと違いが歴然としてきた。
後から買った新品の修正液はちゃんと減っていき、使い切ることができるのだ。しかし最初から持って

いた修正液は、相変わらず、なくなる気配を見せないのだった。

その修正液は、7年近くたった今も、現役のまま使われ続けている。

『超・怖い話』（ケイブンシヤ）より

更にこの文を読んで欲しい……

油徳利　生活に必要な分の燈油を、5年間も出し続けた魔法の徳利。

これは『幻想世界の住人たちⅣ・日本編』（新紀元社――応水木先生も協力しているし、「続・妖怪画談の参考文献にもなっている）に載っていたものですが、ね？。この「修正液」と似ている、というより同じ類の話でゲショ？。

＊結論「川口彰敬さんの言うとおり、妖怪は手を変え品を変え、ず～っと身近なところにいるんだ、ともだちな～んだぁ～♫」♪（「手のひらを太陽に」より）

て事です。以上＿＿。

音信不通　【其の娯】

《最近の魔女狩りについて》

うわーっはっはっはっは　ひぃーっひっひっひ

げほっ　げほっ　げほっ　ううー笑った笑った　ああーおかしい　出來すぎやでぇホンマいやー　しかし参ったよなあー　反則だよなあー本当にっ!!

あっどうもどうも　最近個人誌を出していただき、天狗になっている幸治です。

しっかしアナタ、最近(?)週刊誌やら**おばはん**向けのワイドショウで派手に取り上げられた「あの事件」まだ覚えてますよね!?　いやー本当に笑わせて貰ったわ!!

えっ!?　何いってるか分からん!?　そんな訳ないでしょ？

平成6年1月の下旬から2月の中旬までで一番マスコミを騒がせた上に、我々水木ファンをニュースに釘付けにし、首を突っ込ませた「あの事件」ですよ。

ほーらもうお分かりでしょ!?　何？　まだ分からん!?　オドれ外国にでも行っとったんかい!?　「あの事件」言うたら東京の

『ウチの息子は悪魔くん』事件の事やんけホンマに……

まあ…どうせ今号の他のコラムでも取り上げられるだろうし、あれだけ騒いでも半月もすればみんな忘れちまうんだろうから、此処でこの爆笑事件の経緯をざっと説明しておくと……

手前の息子になるべく変わった名前を付けて、生涯楽しんでやろうと悦に入るのはどこの親でもまあ一緒で、辞典やら運勢学の本をひっくり返し、使われない筈の脳の残り80%までフル動員して捻りに捻った名前を生みだし（あんまり捻り過ぎてループコースターの様に元に戻ってしまい平凡な名前になる事がよくある）、「これじゃあんまりだ」と言う周りからのツッコミを黙らせる爲にもっともらしい理由をこじつけて、親戚一同はもちろん、十数年後に、自分のあまりにも規格外れな御名前にいたたまれなくなってグレた子供まで丸め込もうとするわけだが、これは正に産んだ親の特権であって、誰も邪魔する事は出來ないし、許されない事だろう。

此の事件だって他人の自由と言ってしまえばそれまでなのだが、「悪魔」という言葉の持つイメージやインパクトがあまりにも強烈だったため、マスコミの恰好の餌食となり、大騒ぎになってしまったのだと思う。

群がるマスコミに対して、自分ではかっこいいと思っているらしい斜にかまえた態度ともったいぶった喋り方で媚を売り続けた出たがりのバカ親父に引きずり回された悪魔くんの方こそいい迷惑だっただろう。
開き直って自分のスナックの宣伝に自分の赤ん坊を使っているコイツも随分いい度胸だが、市役所や、自分こそ正義の使者だと信じて疑わない高飛車でお節介な自称文化人の先生方に対して「ほうら!! 僕はこんなにも色々考えているんですよぉ」と、こじつけやら言い逃れをいじましくダラダラ書き連ねた紙の束を、何時もテレビカメラに向かって誇らしげに見せびらかしていたが、あんな尻拭いた後の紙よりも役に立たないような物を人前に出して平気でいられる神経が俺にはよく分からん。
こいつの紙屑の束には、
「悪魔とゆう名前ならすぐに覚えてもらえる上に、何時までも記憶に残り（そらそうだ）友達を作り易い（そぉかぁ？？）」
「悪魔というのは魔物の頂点であり、男ならその名に負けないくらい強くなって頂点を目指して欲しい」（断言してもいいが絶対に名前負けするだろう。しなかったときはもっと恐いけど····）
「この名前によるデメリットにも負けない強い子に育って欲しい」
などのちゃちでチープな文字の羅列が踊っていたようだが、コイツは大事な事を見逃している。
それは**「子供は親の期待など簡単に裏切ってくれる」**という事だ。
純粋かつ無知であるが故に残虐である他の子供（と呼ばれる実在する悪魔）達にとって、変な名前であるという事は唯それだけで絶好のターゲットとなるだろう。
子供を出汁にして自由の闘士を気取るのも、その子にムチャな期待を背負わせて星一徹を気取るのもどうせ他人事だから自由だが、せいぜい子供が自殺でもしないように気をつけるこった。
ＴＶでは無駄に歳を御取りになった自称文化人の皆様や、明らかに頭の弱そうな目つきの教育関係者達が、まるで酸欠の金魚のように口をパクパクさせている。
ウチのババアから、近所の古本屋のオヤジまでどいつもこいつもにわか教育評論家になって、同じ話題で盛り上がっている。
皆ほおっておけば良いのだ。
これはどこの町内にも最低一人は居るお調子物の親父が起こした事件に過ぎず、アカの他人（コミュニストの事ではない）が正義漢を気取って自分の意見を押し付けるのは単なる「**大きな御世話**」でしかない事に気付くべきだ。
それにこの悪魔ちゃんだって、実際にこの名を付けられて社会生活を歩むようになったとしても不幸に成るとは限らない。もしかしたらみんなのアイドルになって友達が沢山できるかもしれない（まあ　98.95%グレるだろうが····）。
国や行政や、お偉い文化人がやらなければならない一番大事な事は、イジメられない為に変わった名前を強制的に改名させる事ではなく、こんなクダラナイ事でいわれの無い差別や偏見やイジメを受けなければならない社会をまず何とかするべきなのではないだろうか。
平凡な名前を付けられ、平凡な家庭環境で育てられたとしても、どうなるかは神のみぞ知るだ。
とりあえず小学生になったら、ぜひ**メフィスト**という名の外人さんとお友達になってほしいものだ。
しっかし····「鳥乙女」とか「蛙男」くらいは居るだろうが、「ヤモリビト」とか「フクロウ女」なんていう名前の奴を見つけるのは至難の技だろうな······
名前が「百目」ったって、身体中に目が百個もある奴はあんまり居ないだろうし、「貧太」なんて放送コードに低触した名前を付けられた奴が、まともな人生を歩めるかは大きな疑問だ。

まあいろいろ書いてしまったが、もし将来本当に千年王国を作る事になったら、ぜひ建国の仲間に入れて欲しいものだ。その時はヨロシク。
……と此処まで書いたら、ＴＶのニュースで、自主的に平凡なごく普通の名前に改名したと報じやがった……せっかく裁判にも勝ったのに……

この根性無しぃ！！

《偶然聞いた話について》
去る２月４日、ラジオ番組「松任谷由美のオールナイト・ニッポン」の「日本全国なんでもかんでも試食会（だったっけ？）」というコーナーで、なんとあの水木通り名産「鬼太郎飴」が取り上げられた。
送ってきた人は境港に住む女の子で、電話ボックスが鬼太郎ハウスの形をしていたり、９４年にはさらに妖怪達のブロンズ像が増える予定である事や、目玉親父型の街灯が製作される予定である事を「少しやり過ぎでは……」と困惑している様子であったが、人口が減り続け、昔からの顔馴染みの店がだんだんと店を閉めてどこかに行ってしまおうとするのを何とかくい止めようとしている市の姿勢には敬意をはらっていた。
一方のユーミンは「へぇー　あのゲゲゲの鬼太郎の水木しげるって鳥取の人なんだあ」と変な感心の仕方をしていたが、他にも「妖怪最中」「妖怪煎餅」「鬼太郎パン」「鬼太郎大判焼」「一反木綿パイ」などがある事を知って大喜び（特に一反木綿がお気に入りらしい）。
「小泉八雲を呼んで（………しかし…呼ぶったってどうすんだ??　イタコに口寄せでもして貰うのか???）記念祭を開く計画がある」と知ると、「小泉八雲に水木しげるかあ…いいわよねぇ　あっちの地方はロマンチックで……私好きなんですよお……鬼太郎かあ………」としばし番組を忘れてうっとりとしているようであった。（無論そばで見ていた訳ではありませんが）
飴はスタッフが「俺にも食わせろ」と取り合いになってしまい１本しかユーミンの手元に残っておらず、どこを切っても青地に鬼太郎の顔がある金太郎（鬼太郎？）飴を見て「美術的にも良い」「綺麗」とひとしきり感激した後、おもむろに食べてみると「おばあちゃんの好きそうな味」と実に微妙な感想をもらしておりました。
《うれしい増刊号について》

良い子の皆さぁ〜〜〜ん！？（サンデー先生風に）

『フハッ増刊　音信不通』は読んでいただけましたかぁ？
元はと言えば、1991年の『サマーイベント』で無理矢理飛び入り参加させていただいた上に、スタッフの皆さんに大変お世話になった……にも関わらず、その後きっちり丸１年間お礼の手紙さえ書かない音信不通の状態であった事を詫びる為の手紙から始まった此のコーナー。
別に文句の手紙も来て無いようだし（実は馬場会長が気を使ってくれて、文句や抗議の手紙を全部抜き取って燃やしているという噂も有りますが……）、いつも決まったメンバーしか原稿を送って来ないので（つまり、こんな道ばたのゲロみたいなコーナーでも無いよりは幾らかマシだという、「枝毛も禿頭の賑わい」という諺どうりの編集事情……）ついつい調子に乗って今日まで続けて来ました。
が、しかし、あの『フハッ増刊　音信不通』について、私の名誉の為にひとつハッキリさせておきたい。
と言うのも、37ページの水木伝説・神戸本部スタッフの『証言』コーナーで………ちょっと米吉さん………何ですかありゃあ……!?
「ホモという噂があるが」って、何時そんな噂が有ったんですかぁ!!
それに「昨年のキャンプで、ひとりエッチしていた」って誰がしてたんですかホンマに。確かに誤解されても仕方なかったけど、知らない人があれ読んだら本気にするじゃないで

すかぁ!!　（えっ？　本気も何も事実やないかって!?　違うっつーの‥‥）
それに「宇宙企画、ダイヤモンド映像でも頑張るように」って何時私がそんな所に就職したんですかぁ!!
あれ読んだ人が「このコージって奴‥‥‥アブネエなぁ‥‥エンガチョ」とか
「こんな奴が毎年サマーイベントに参加するのか‥‥‥俺も負けずに参加しよう」とか
「このコージって人のファンクラブは無いのかしら」なんて思ったらどうすんですかぁ!!　まったく。
とにかく此処までやられたからには報復として、

あまりにもエゲツナイ文章なので カットします。

などの恐ろしい企画を用意しておりますので、恐怖に震えながら待っていて下さい。

【これまでに幾つか出て来た楽屋オチなネタについて知りたい人は是非サマーイベントに参加して下さい。
いろんな意味で忘れられない夜にしてさしあげますから‥‥‥】

《こいつぁ春からドツボにハマるについて》
此の原稿を製作中（平成６年３月２日）大学の卒業試験に落第し、一年間の卒業延期と歯科医師国家試験受験資格の剥奪が決定してしまった。
其の為、既に選考試験に勝ち抜いて入局が決定していた大学院も白紙撤回され、関西移住計画も中止。彼女には捨てられ、風邪をこじらせ、バイクで事故った‥‥‥‥。

まったく最悪の春である。

これを読んでいるキミ!!　こんな凶運を背負い続ける役立たずでさえ大手を振って生きているんだ。何か大きく落ち込むような事があっても「ああ此のアホよりましだ」と思って強く生きてくれ。《100％実話です。》

追伸・其の壱　　雑誌「サライ」（隔週誌）に夏目房之介先生が「人生の達人」というコラムを書いているが、先生は自他ともに認める**水木しげる**＆手塚治虫両巨匠のファンで、このコラムにもたびたび水木キャラが登場している。
さあ君もチェックしよう!!
（宝塚に手塚治虫記念館ができるそうだが、もしそうなったら夏目先生にサマーイベントに参加してもらえるかも!!　うーん‥‥実現したら嬉しいんだけどなぁ‥‥俺だけ。まぁ無茶かなぁ‥‥‥）

追伸・其の弐　　「**ノドン１号**」の破壊力並みに衝撃的だった「きくち正太」先生の水・伝入会。新連載の方はどうなったんだろう？　知ってる人は教えて下さい‥‥‥じゃなくて本人聞けばいいのか。
きくち先生あんまりファンを**やきもき**させないで下さい。
（それからぜひ今年のサマーイベントに参加して妖怪博士・水木しげる先生との２ショットを撮らせて欲しい。ヨ・ロ・シ・ク!!）

バザールでゴザール
バザールでゴザール
バザールでゴザール
バザールでゴザール
バザールでゴザール
バザールでゴザール



バザールでゴザール

バザールでゴザール バザールでゴザール バザールでゴザール バザールでゴザール バザールでゴザール バザールでゴザール バザールでゴザール バザールでゴザール バザールでゴザール



大アニメ大特集!!の前フリ。

BY.大バザール大で大ゴザール大会社

鬼太郎のアニメ版４作目制作のあの情報以来未だ新作は始まりませんが少なからずもその可能性が消えた訳ではないでしょう。現在、一時のような妖怪ブームは去ったとはいえ何といっても鬼太郎シリーズは時代に関わらず高視聴率は間違いない訳で、何時であっても新作開始はありえると思う訳です。しかしながら恐らく次回作は前作後編のような子供やアニメマーウケするパターンにはまった売れ線作品となることは間違いないでしょう。　その昔の漫画の売れ線といえば面白く解りやすく起承転結があって真実味のある作品でありましたし、ギャグ漫画はあくまでギャグ、劇画はあくまでリアルでなければなりませんでしたが、水木作品を読んでいると児童向け作品といえど手を抜かないという感覚があっったせいでしょうか、キャラのタッチは軽快であるのにその作品群には実に重みがあります。登場人物はほとんど３等身、誇張されたディフォルメキャラで突拍子もない事件が次々起こるのに作風、内容にはギャグがない…。鬼太郎のアニメ作品に関してはその大前提は最低限守られている気はしますが、やはり基本設定がなにしろ現実離れしているので一般人には軽薄にも漫画扱いされがちであります。はてさて、かねてより論争となるのはやはり水木マニアとして原作を知っている以上、アニメの作風に集中しを得ざる無い訳ですが、３作目に関しては随所に賛否両論あって仕方無いという気はしますが。特に画風は極めて変わってしまいましたし（勿論悪魔くんの比ではないが）それに関して水木マニアにとってはツライ部分が多いことでしょう。しかしながら常に時代と共にアニメの作風は代わってきましたがそれはひとえに試聴者のセンスが向上してきたと言わねばなりません。絵や物語を理解しより複雑でトレンドな物を求めているという事でしょう。例を言うなら前回のタワリシチにもあったように３作目ラストで登場した鬼太郎の母のデザインは実に現代的である反面、原作のデザインとは随分異なったものとなってしまいました。木マニアとしてはデザイン自体が原作に近いことを求めているであろうし、我々の感性だとむしろ旧作の「死神」の時の鬼太郎の母（魔女の化けた偽者だったが）のほうが抵抗が無かったのは確かでしょう。しかし、一般に水木作品を理解できる作品とするにあたって、そして現代のアニメ作品に仕立てるにあたっても原作の画風そのままでは決してイカンと私は考えております。なぜなら水木漫画の絵というものは一般人には理解しがたい高密度な情報そのものであるはずです。「ただそういう画風」というだけでなくあの誇張表現された水木タッチからそれが現実にはどういう容姿であるか自らの感性のフィルターを通して解読できるものにしか解らない作品だということです。それを全国版アニメという言わば超メジャー作品に置き換える場合当然の如く万人に容易く理解できる、現実に近い姿に描写しかえねばならないはずです。しかし今現在ですらまだ々途中の段階でありましょう。試聴者が更にリアリティを求め続けて行けば将来水木タッチがアニメという形に置き換えられた際も、水木作品が完璧なリアル画像として目にするときがくるでしょう。私は水木漫画（事貸本作品）を読んでいると時々その天才的なストーリー展開に神がかり的だとすら感じてしまいます。実際神がかりだとすればその先、より完璧な作品に仕上がって行くのは神の至高意志かもしれませんですな。ま、そんな訳で実際のところは欲を言うときりがないですが各アニメ作品ともその時々としては妥当な線であったかも知れません。（とはいえ勿論水木作品の作風を理解して無い（制作側が）と感じる物、総体的にアニメ作品としても不出来な物は改悪と感じずにはおれませんが。）最近特に感じるアニメ版と原作の鬼太郎の違いがあります。それは旧作にもいえる事なのです。メジャーなアニメ作品としては仕方無いのかも知れませんがそれはアニメの鬼太郎は決定的に強すぎることです。（無論ストーリー上そうでない作品も…）原作の鬼太郎は技（術）の数こそ多いものの鬼太郎自身は大して強く無くあくまで限度の有る気力体力、霊能力を駆使して闘っていた訳で（実際毛針も指鉄砲も使えば減るし、霊能力も使い過ぎると著く弱体する）おまけに人間的でしたが、アニメの鬼太郎はやたらたくましく、完璧に精錬潔白のヒーローという観を覚えてしまいます。（事実そういうコンセプトであったし、そのお蔭で現在の鬼太郎の好感度や社会的人気を得られた気もするが）以上挙げた私が考える鬼太郎アニメに求める姿を考慮しても良作であると判断できる、原作のムードとノリ、更によりリアルな表現、現代的アレンジを兼ね備えているのではないかという作品がこれ迄のアニメ作品の中にもいくつか有ったと感じています。そんな訳でこれ迄に作られた作品を検証しようという企画の前ふりであった訳です。（ほとんどカスミ伝だな）

以下次号!!


♪うーすぎうさま何見てはぬる
足元おここてる♪
ウンコフンでいるる♪
ズガンガバメントです。
大三元です。
いやー今欲しいCDが色々あってですね。コモエスタ八重樫にBBのも安くなってるし、二代目BBの輸入盤も聴きたいしエニグマも新作が…
しかもジャンルバラバラ
また全然関係無いですね。
11
…等と云ってる場合か！ヨギの原稿はどうしたんだ！
書かないとねぇ。
怪人舞踏会（と云うコミケ）又やります。（4月3日）今回のサークル配置⇦
（マジです）
ハザールDEゴザール®
いやー昨夜友人にミニに乗せてもらったんですが
ショッカが…
もぐもぐ
もち足まわりーガチガチのね
ローバーの？
いやームチャクチャですな。エウローペ㊟車の高速安定性は。高速コーナーを80マイルでリニアにクリアしてしまうんですな。もちタイヤも足回りも完璧なんすけど
注、ヨーロッパと云いたかったらしい
へえ
あーらーいいわ
メイフィアですぜノーマルエンジンの。
免許証
佐藤 公紀殿
あなたは極楽院において体位研修の全課程を優秀な成績で修了されましたので指導師範免許証を授与致します。
平成5年12月20日
極楽院院主
性学博士 長太珍宝
極楽院院主印
でえもん＆ダリャーがサマーイベントに向けてビデオを作ると云っております。
題未定乞うご期待!!
ろとでっ
今回ケツは出しませんので。
でもやっぱり三菱の30万のVHSとムービーがないと今一自信が…
今月の怪情報。

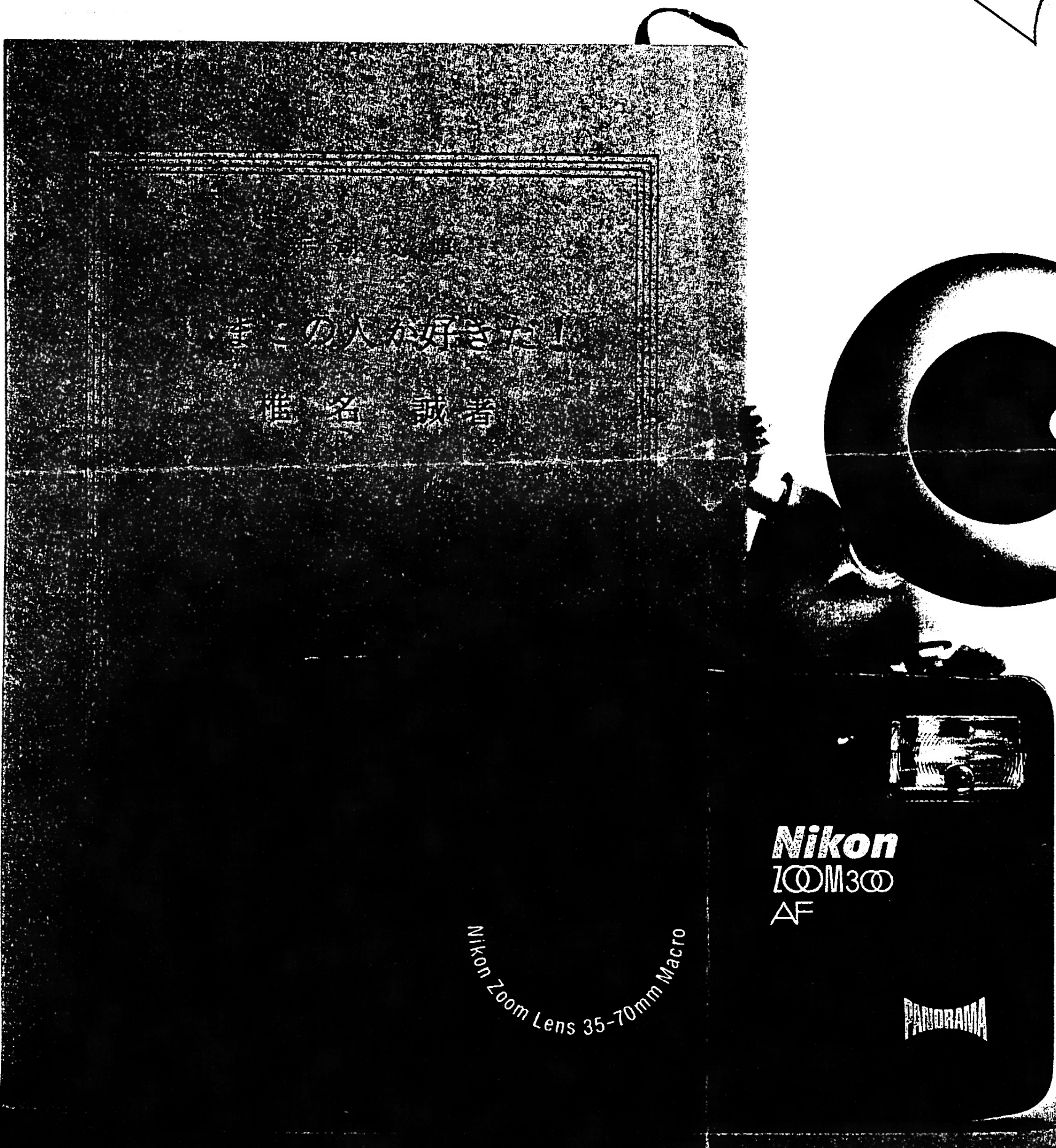
◆水木しげる情報◆

——— ❀Shigeru Mizuki inteligence '94 Spling ———

✐皆様お待たせ！の『水木しげる情報』です。何たって、水木先生のファンが読む会報ですから水木先生の最新情報が最も気になるところでしょう。さて、今回は、水木プロの「松久保さん」より沢山の情報を戴いておりますので、さぁて、何から行きましょう？

まず、『音信不通』のコーナーでも取り上げられた「あくまちゃん」事件。結局「悪魔ちゃん」は「阿久間ちゃん」と（確かこんな字だったと思う？）命名されめでた

スペシャル



©水木プロ

実物大

毎日小学生新聞さま
祝創刊二万号

毎日小学生新聞3月24日





し、めでたし。ですが、多忙中の水木先生まで引っ張り出されたこの事件は、何だったんだ（女性セブン、女性自身で先生の関連記事）

引っ張り出されると云えば、雑誌、週刊誌での先生の活躍はめざましいです。あまりに多くて、今回の「フハッ」に入りきれませんでした。それらをザッと紹介します。

「悪魔ちゃん」読者アンケート結果

東京都昭島市の夫婦が、長男に「悪魔」という名前をつけようと出生届を出していたことに関して読者の皆さんにアンケートを募集したところ二日間で百三十六通ものお便りをいただきました。ご協力ありがとうございました。父親が行政の指導を不服と申し立てていた東京家裁での審判は結果待ちですが、〝読者審判〟は反対派が大きく上回りました。自分では選べない名前だけに、皆さんいろいろな考えを持っているようです。

反対派が上回る

反対

反対は百九通でした。

まずは、「絶対に親のエゴ。子供を愛しているなら、このような文字ではつけない。マンガの中の名前ではない」（岩手県Kさん）。厳しい意見です。「両親の売名行為」「子供をモノ扱いしている」との指摘もめだちました。

「テレビなど世相の現れでもあるでしょうが、ほとんどの親はそれに流されず幸せを願うもの。昭島市役所の方は法律だけでなく心の通った対応をした」（東京都Aさん）。「子供の名前など符丁としかみなさない親に嫌悪を感じます」（神奈川県Kさん）といった最近の世相の影響ではないかと憂う声も。

「日本は昔から〝言霊の幸う国〟といわれ、言霊によって運、不運もわかれると聞いています」（神奈川県Yさん）。「聖書にもあるように言葉には創造の不思議な力があります。親が名前に負けずによいことをするように願っても、昔からの〝悪魔〟の悪の観念の力が強いと思います」（東京都Eさん）

言葉や名は大切なものとして扱ってきたのは洋の東西を問わないようです。

目立つ「売名行為」との指摘

〝名は体を表す〟という言葉もあります。

子供への教育的効果や精神発達への危ぐを挙げる声もありました。

「生まれて早々、ハンディを背負うことはない」（大阪府Iさん）。「だれが悪魔くんと友達になりたいと思うでしょうか」（埼玉県Uさん）。「小さい子は残酷で〝悪魔〟的なところもあるので、この悪魔ちゃんはいじめられる可能性が大きい」（東京都中野区Kさん）

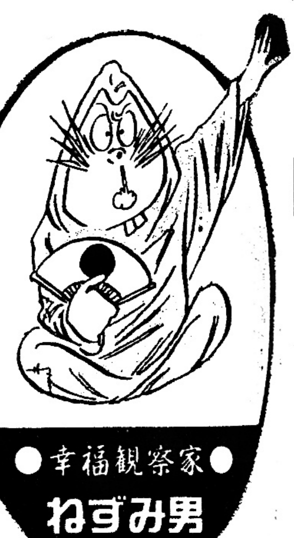
自分の子供に名前を付けようというのは、楽しくも難しいこと。「ありふれた名字なので子供には変わった名前をと思っていましたが、実際生まれたわが子を見ると、分かりやすく間違えにくい、そして似合った名前にと思い直しました」（愛媛県Sさん）

「悪魔がそれほどよいのなら、自分が改名すればいい」（滋賀県Sさん）という、〝親が改名〟論者も少なくありません。

〝あくま〟の発音が気に入っているのなら〝阿久麻〟〝亜久麻〟などと字体を変えてみればいいのではないか。また、〝魔〟の字が好きなら「善魔」などはどうか、とのご意見も多数ありました。



寄せられた136通ものお便り



「悪魔」のイメージを変えた!!

レンズ付きフィルムのテレビCMで人気のロック歌手「デーモン小暮」▽女子プロレスの「デビル雅美」▽アニメの「デビルマン」。さらにはキャンディーズのヒット曲「やさしい悪魔」など。現代では「悪魔」という言葉は、マイナスイメージばかりとはいえないようだ。

「悪魔」が肯定的に使われた始まりは、その名もずばり「悪魔くん」（水木しげる原作）かもしれない。昭和四十一年から四十二年にかけて「少年マガジン」（講談社）に連載され、テレビドラマ化、アニメ化もされた。

悪魔を呼び出すための呪文「エロイム エッサイム」は流行語にもなった。この漫画の中では、悪魔くんとメフィストは正義の味方なのである。

水木プロダクションに今回の騒動について問い合わせてみたところ、「あの父親が『悪魔くん』を読んだかどうか定かではないでしょう。マスコミが、こじつけて話を面白くしようとしているだけじゃないの」との返答だった。



「悪魔くん」©水木しげる（講談社）

◆写真やお便りをお寄
写真やお便りをお待ちし
援団」へのご質問、「ちび
へのほか、情報提供も大歓
言板、「教えて」などを除
謝礼をお送りします。〒10
〒530—77）産経新聞文化
クまで。

産経新聞1月20日

◇建設省パンフレット『KAWARA－BAN』（河童の話）
◇月刊平成義塾－インタビュー（特集・みんな、駆け出しだった）
◇プレジデント社『CURRENT　21』－インタビュー
◇SEG出版『ペンギン』－荒俣宏先生との対談
◇HOMEING　NEWS　2月号（ミサワホーム機関誌）
◇月刊パーゴルフ（ねずみ男カット）
◇博報堂機関誌「キャラクターの履歴書・鬼太郎」1/15日発行
◇学研「４年の学習」－境港関係
◇学研「３年の学習」－妖怪トランプ





東京都家裁八王子支部が佐藤さんに書面で通知した審判には「『悪魔』の名を長男の戸籍（名欄）に記載し‥‥」とある

ホントにいじめられる!?

力と命名の由来、動機をハッキリ伝える必要があります。占術の立場からは〝悪魔〟の32画の子は将来、頂点に立つことになりますが‥‥

子供たちは、どう思っているのだろう。ちなみに、毎日小学生新聞が東京、横浜の64人の小学生に対して行なったアンケートでは、

「いじめられると思う。悪魔なんて呼ばれるのはいやだ」

というのが７割以上を占め

「珍しい名前で面白い」

と答えたのは、全体の８分の１にも満たなかった。

■

いまは名前を変えることはないと断言する佐藤さんだが

「子供にとっていやなことばかり、不利な状況ばかりだったら変えるしかないですね。子供のためですから‥‥」

その心はまだ揺れている。

裁判所は判断したが…

佐藤重治さんは、長男に悪魔と命名。昨年８月に昭島市役所に出生届を提出し、受理された。その後、名前の変更を指導した市に対して佐藤さんが先月13日に不服を申し立て、その家事審判の決定が今月１日東京家裁八王子支部から出された。裁判所は、

「社会通念上、明らかに名として不適当とみられるときや、命名権の乱用になる場合は、例外として届け出の受理を禁じていると解すべきだ」との判断を示した。

そのうえで、「悪魔」の命名は、将来いじめに遭う、社会不適応を引き起こす、など子供の福祉を害する恐れがあり、命名権の乱用にあたるとした。

ただし、佐藤さんの場合には、市がいったん届け出を受理しており、抹消には戸籍訂正の手続きが必要で、手続きなしに市が戸籍記載を抹消したのは無効、すなわち市は出生届を窓口で受理する前に拒否すべきだったとした。つまり命名権の乱用であっても、いったん受理した以上は、戸籍は抹消できないとの判断になり、結果的に佐藤さんの言い分が認められた。

ところが、市がこの決定を不服として抗告した場合には、審理は東京高裁に移り、再度確定するまで〝悪魔ちゃん〟は『名未定』になってしまう。今後は両者の出方次第で、長引くことも考えられる

続いて**出版物**です。**悪魔くん**－ノストラダムスの大予言の下巻が、辰巳出版より４月中旬に発売されます。上巻を読んでいる人は続きが気になることでしょう。この「フハッ」が届く頃には発売されているかもしれませんね。小学館の**妖怪博士の朝食**①（ビッグゴールドに「妖怪変化」シリーズ連載中）はもう買いましたか？何まだ買っていない！４月１日には②巻も発売されたのですゾ。二冊そろえて買うベシ。発売中のものでは角川ホラー文庫の**畏悦録**～水木しげるの世界～。これはおススメです。久しく復刻された「霊形手術」を初め、次号「水木伝説」で特集される太古漫画「天国」と「最初の米」等、名作がズラリ１３本。装丁もカッコイイゾ。新しい情報では、週刊朝日百科『動物たちの地球』の**幻獣劇場**が単行本化！ちくまから**ラバウル戦記**！集映社から**世界妖怪**！そして岩波からは６月２０日に**幽霊画談**が発売される。他にも今年は絵本を何種類か出す予定だそうで、年末には貴方の本棚が一杯になる。

ついに裁判所が「命名権の乱用」との判断。父は徹底抗戦を――

「よいイメージの名前だ」という漫画『悪魔くん』の作者、水木しげるさんから64人の小学生までの「私はこう思う」！

賛否両論オピニオン 「悪魔くん」は

「違法と言われたまま、引っ込みたくはない。もう一度、戦いたい気持ちです。

争っている間は、戸籍が空欄のままになってしまうのでこの子が可哀相だとは思いますが、降りかかる火の粉は払わなくてはならない」

長男に『悪魔』と名付けた東京都昭島市のスナック経営佐藤重治さん(30)は、

〈戸籍に〝悪魔〟と記載せよ ただし、悪魔は命名権の乱用であって違法〉

という内容の家裁の決定に複雑な胸中を吐露する。

「僕はこの名前を、単なるエゴや賭けで付けたわけじゃないんです。

〝悪魔〟という名前は、本人に与えられる〝武器〟になるんです。ビジネスだって、これだけインパクトのある名前だったら、利用できるし、人脈も増える。出会いが増えれば、それだけ人間を成長させるんです。

社会通念上は違法というなら、通念が変われば違法じゃなくなるわけで、もうすでに変わっていると思うんです。

いま〝悪魔〟と聞いて最初に思い浮かべるのはうちの子で、いまの首相や小沢一郎さんの名前は知らなくても、うちの子の名前は知っている人もいる、それだけでもプラスに作用してると思う。

なかには、意地になってるんだという人もいますが、自分の子供のことを思えば、意地になるのは親として当然です。僕は最後まで、自分の意見を押し通すつもりです」

と〝悪魔くん〟のパパは、徹底抗戦も辞さない鼻息なのだが、いま問題になっているのは命名権の乱用ということについて。

果たして、悪魔がそんなに問題になる名前なのか？ ホントにいじめられるのか？

命名に対して意見が続々と

●水木しげるさん（漫画家）

「実際に悪魔と名付ける人がいるのかと、驚きました。しかし、市役所かなんか知らんが、そういう所が指導して個人の幸福の指針をとやかく言うのは、けしからんと思いますね。人はもっと、自由であるべきです。

私が『悪魔くん』を描いたのは貸本漫画の時代でした。1カ月くらいあれこれ悩んだ末、一瞬ひらめいて『悪魔』に『くん』をつけてみたんです。

新鮮で意外性があって、愛嬌のある名前になりました。

当時私は貧乏で、この名前には『貧乏を吹き飛ばす』という願いが込められているんです。実際の悪魔ちゃんには字が読めるようになったら、私の『悪魔くん』を読ませたらいい。きっと、頑張って生きようという気になりますよ。みなさんにも読んでもらって、この名前によいイメージを持ってほしいですね」



悪魔という命名に驚きつつも、励ましのメッセージを送る水木しげるさん

●俵萠子さん（評論家）

「家裁が命名権に言及したのは、親とは別の人格に対してその権利を乱用したということを言ってるのであって、子供は親とは別の人格で、一心同体ではないんです。

いまの状況は、お父さんが振り上げた拳を下ろせないでいるだけで、下ろしても誰も笑いません。なんとか思い直して違う名前にしてほしいと思います。普通に生きやすいように、親が考えてあげることのほうが大切なんです」

●浅野八郎さん（心理研究家）

「父親は、社会から注目されたいという意識が強く、わが子にそういう名前を付けることで、社会に挑戦しようとしているようにみえます。

そのような意識で名付けるのもいいが、その場合、子供にその名前を好きにさせる努



イラスト／水木しげる（『悪魔くん』はちくま文庫他より刊行）

文庫・新書

『ゲーテとの対話(上・中・下)』(エッカーマン著、山下肇訳・岩波文庫)

私の一冊



水木しげる（漫画家）

僕は十八、九の時、偶然岩波文庫の『ゲェテとの対話』(エッケルマン著・亀尾英四郎訳)という本を手にした。今は『ゲーテとの対話』(エッカーマン著・山下肇訳)として新訳が出ている。

その頃(ころ)は、太平洋戦争が始まり、いづれ死ぬるのも時間の問題だと思っていたから、当時の若い人は生きることに真剣だった。

〝人生とは何か〟といったことも分からずじまいに死ぬと思うと、全くつまらない。そこで岩波文庫となったわけだが、どうしたわけかその頃、岩波文庫を読む若者は多かった。

『ゲェテとの対話』だが、なにしろゲェテの晩年のごく普通の会話を、エッケルマンというマジメな男が書き残したもので、誠実そのものだ。その誠実さが伝わってくるのだろう、友人だか、ゲェテと話しているみたいでとても面白かった。

当時はエライ人とか偉人というと、なにかカミサマの次くらいに考えて、人間でないみたいに思う人もいたのだが、それでは〝人間〟が分からなくなるので、〝普通の人〟の話をきくような気持ちで読んだ。あまり尊敬などしてなかった。

それが良かったのか悪かったのか知らないが、ゲェテは面白い男だと思うと同時に、〝センセイ〟にしてもよろしいなと思って、僕は対話の〝感心〟するようなところをノートに書いて戦地までもっていった。

そのせいかもしれないが、今でも〝その時その時〟に必要な言葉が出てくる。

すなわち、人生の〝センセイ〟だったわけです。

そのお陰かもしれないが、どうにか人生を大過なくすごし、ささやかな幸福にもありつけたような気がする。

→ 朝日新聞 '94 2.15





調布銀座 ひし美ゆり子

「ウルトラセブン」のアンヌ隊員も今や3児の母である。この商店街で台湾料理〈[illegible]〉を経営するご主人と結婚後、ずっとお店に出ているのだが、水木氏とはこの日が初対面。ここに、「夢の競演」と相なったわけである。

水木しげる

漫画家

妖怪漫画とともに息づく往時の銀座。

「今はすっかり寂しくなってしまいましたけど、この商店街も京王線の調布駅が移る前はほんとに賑わってたんです。駅を降りて商店街に入っても、埋め尽くされた人混みで、旧甲州街道が人の頭で見えなかったくらいですから、大変なもんでした」

水木氏が引っ越した35年前、調布の繁華街といえばここ調布銀座しかなかったという。あとは畑ばかりで、土地も安かったらしい。

「その前は新宿に住んでいたんですけど、毎月家賃を払うのが馬鹿らしくて家を買うことにしたんです。そしたら、ちょうどここが手ごろな値段で売りに出てたわけです」

戦後10年を過ぎたとはいえ、今の豊かさとは比較にならない時代である。商店街に関する記憶も自然と食べ物と結びつく。

「今もある果物屋ですけどね、ちゃんと棚に載ってたひと山100円のバナナがあったんだけど、僕が買ってたのは地面に並べてあった50円の。黒くなったバナナを食べると赤痢になると言われたもんだけど、これが実は一番うまい。いつもそれを買ってたんですね」

旧調布駅が商店街前から現在の位置に移ってからも、2、3軒の店が移っただけで、たいていは今も昔のまま残っているという。

水木氏の『口割け女』には、やはりこの商店街に残る「小鳥屋」が背景として描かれている。やや時代がかった背景からは、まだ畑ばかりだった頃の調布の闇に浮かぶ「銀座」の薄明るい裸電球の中で蠢いていた買い物客の熱気さえ感じられる。その独特なムードを演出する調布銀座の街並みは水木漫画とともに世代を超え、読み継がれていくのだろう。

←「ブルータス」
2/15号
終末都市
東京のカルテ'94

新入会員紹介

No.174　佐藤　秀

住所／大阪府枚方市
好きな作品／子供の国

ある日、私はいつものように本屋で水木しげるの本を探していたところ、「ゲゲゲの鬼太郎の大秘密」なる今はやりの研究本を見つけたのです。私は研究本は、本来嫌いであったのだがゲゲゲの鬼太郎ということで本を手にとって中を見ました。そして水木伝説という水木しげるファンクラブの存在を知りました。そこで私は早速この本を購入し読んでみたところ、非常におもしろく、水木伝説に入会したいと思ったのであります。

※早速ですが、水木伝説のバックナンバーⅠ～Ⅻ、別冊水木伝説を購入したいのですが在庫の確認をお願い致します。

No.175　上田寛子

住所／千葉県船橋市
好きな作品／悪魔くん千年王国

上田寛子（15）
S.53.3.6生　午どし 魚ざ B型 ← AB型とB型の方輸血して差し上げます。
県立高校1年

さる美術系集合型高校の1つに通います。以前は画家になりたかったのですが、画才がないことがわかって、今は作家になろうと思っています。多摩美に行きたかったですが遠いのでやめます。今度誕生日が来て16才になったら記念に献血をしようと思います。楽しみです。　下駄。

最近、ギリシア神話の勉強をはじめました。おくわしい方、ご教授下さい。目玉親父と百目が大好きです。

No.176　天谷慶子

住所／栃木県下都賀郡
好きな作品／ゲゲゲの鬼太郎

⑦自由欄

はじめまして。皆様。天谷慶子と申します。（鬼太郎の）同人誌を描いてます。その時のP.Nは遠野竜子。鬼太郎にホレて5年たちました。その間、鬼太郎は、大変な時、いつもたすけてくれました。水木先生にとても感謝しています。大好きです。これからよろしくお願いします。



No.178　東　秀裕

住所／愛知県名古屋市
好きな作品／ゲゲゲの鬼太郎

入会を申込みます。
よろしくお願いします。

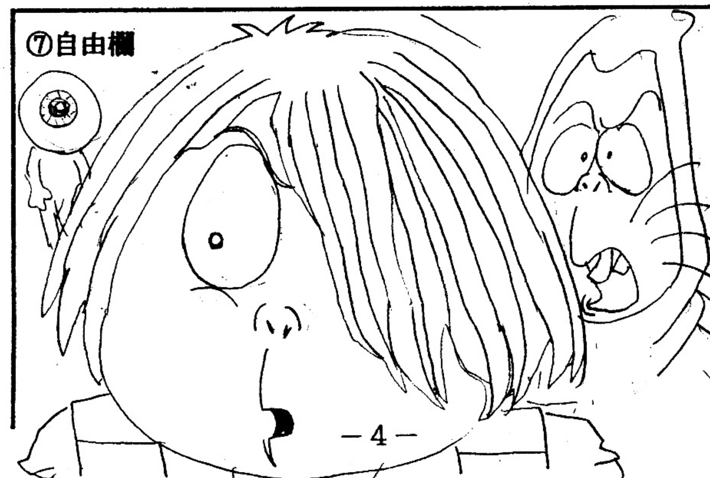
中年一歩手前の鬼太郎ファンです
よろしく。

No.177　細川満範

住所／北海道中川郡
好きな作品／ゲゲゲの鬼太郎

No.180　菱谷哲嗣

住所／香川県木田郡
好きな作品／ゲゲゲの鬼太郎



No.181　岡和田真由美

住所／北海道札幌市
好きな作品／ゲゲゲの鬼太郎

私は25才の主婦ですが夫がちくま文庫の水木先生の本を買ってきたのをきっかけに私は水木先生のファンになりました。ですからまだまだ読んだ事のない本もたくさんあり、古本屋さんをかけ回っているこのごろです。現在90冊たまりました
先日古本屋さんで水木先生のサイン入りと言う妖怪画集という本を－4－買ました　でも本当に水木先生のサインかどうか分からないので心配な今日このごろです

No.182　牧野美代子

住所／大阪府大阪市
好きな作品／悪魔くん

⑦自由欄

はじめましてこんにちは私は牧野美代子ってものでございます。このたびは水木しげる先生のF.Cに入らしてもらいましてうれしいでございます。私は悪魔くんにはまってる女ですが原作の本をもっていません。誰かどこかうってる本屋さんおしえて下さい。こんなヤツですが仲よくしてやって下さい。



No.１８３　小笠原泰延

住所／埼玉県越谷市

好きな作品／原始さん

小学館入門百科シリーズの

- 妖怪なんでも入門
- 河童なんでも入門
- 妖精なんでも入門
- 妖精100物語

以上の本をどうしても入手したいのですがどうしたらよいでしょうか。(今や古本屋でも置いていないので‥‥)
またこれらの本は小学館から復刻版として今後発売される予定はあるのでしょうか。そのへんの情報がわかりましたら教えてください。

－4－

No.１８４　橋田淳哉

住所／京都府久世郡

好きな作品／ゲゲゲの鬼太郎

みなさん、こんにちは。

私は水木先生をはじめ、妖怪の大ファンであります。小学生の頃、水木先生を訪ねようと、電話帳で先生のお宅をさがしまわった経験がある程です。もっと早く、このファンクラブに気付けば良かったのですが‥‥兎に角、私は妖怪が大好きで、もっといろいろな妖怪に出会えればいいなと思っている次第です。みなさん、どうぞよろしく！
"水木しげる先生、万歳!!"



No.１８５　高橋幸治

住所／北海道砂川市

好きな作品／ゲゲゲの鬼太郎

水木しげる氏の
あの独得の画風に魅せられてファンとなりました。
河童の三平・鬼太郎物が特に好きです。
ぜひ北海道でも妖怪イベントを行なって下さい。

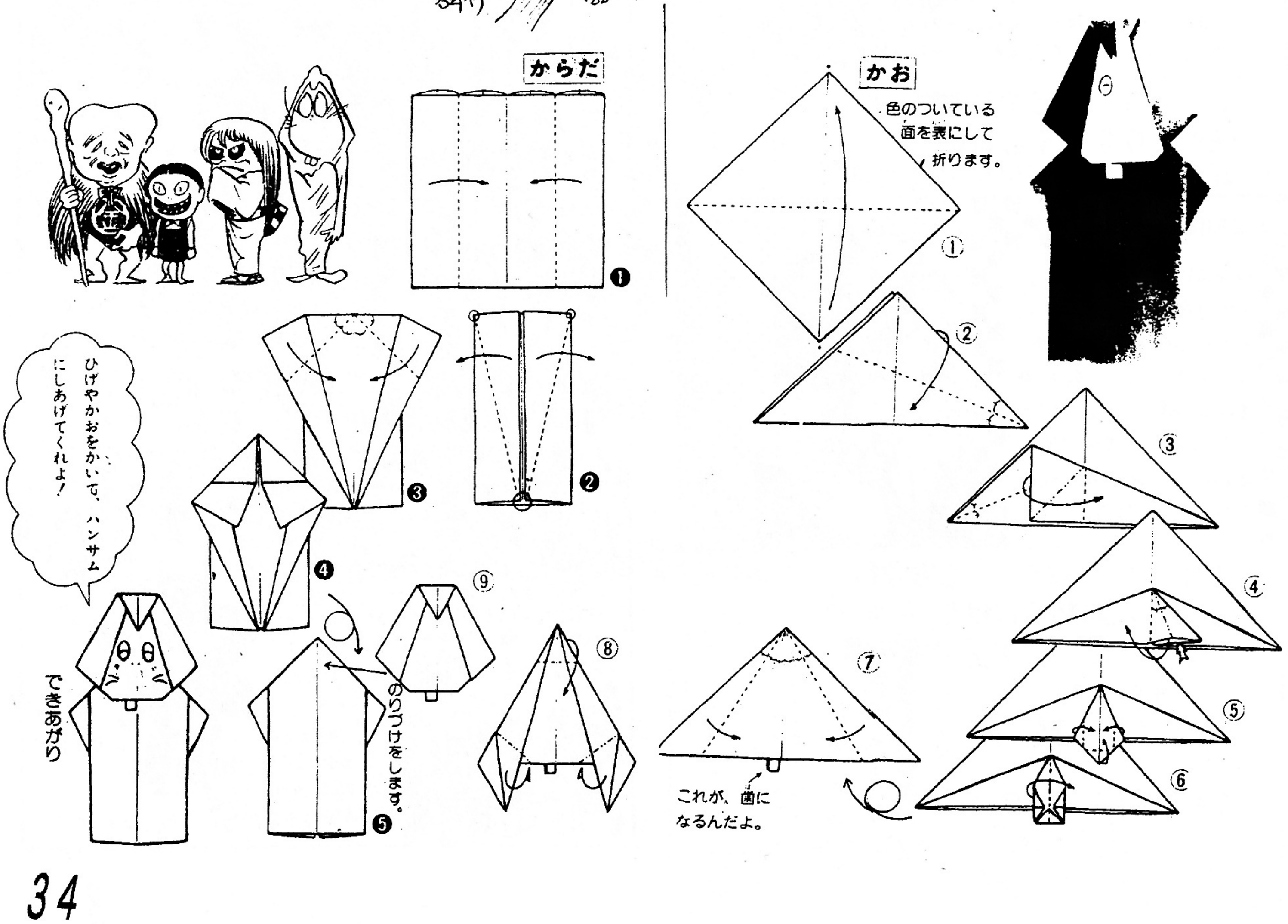
PS. 北海道には、コロポックルではなくニングルという人間の形をした小人が住んでいます。富良野の山奥で、人間をずっと見守っていました。

－4－

倉本聰作の舞台「ニングル」大阪方面でも公演しますので ぜひ、みて下さい。

特別一大付録の遊び方

下の折り方を良く見て、一家に一匹愉快なねずみ男を作りましょう。あなたの付録の折紙では、何色のみずみ男が出来たでしょうか。千代紙を使ってカルダンを作るもよし、唐草模様で偽ねずみ男を作るのもまた一興。家族お友達みんなで作ってね。　〔資料提供／吉田温代〕



サマーイベント'94参加予約のお知らせ

少し早いですが、毎年恒例の『サマーイベント'94』の参加予約をとらしていただきます。それというのも、今回、毎年宿泊施設に利用している『神戸市立・若者の家』を変えて、新たに別の施設で開催しようという計画があるもので、おおよその参加人数を把握したうえで、もっと検討したいので、どうか、御協力をお願い致します。

さて、これ迄イベントに参加された方は『神戸市立・若者の家』という施設が、どんな物であるかと御存知だと思いますが、未参加の方は知らないので少し説明します。

場所／神戸市の山奥にあり、ＪＲ神戸駅からバスで20分、そこから歩いて30分という大秘境である。水木ファンならではのムードが漂う場所ではあるが…

施設／木造平屋建。臨海学校を小さくしたようなもので、すぐ近くに精神薄弱な少年を預かる施設があり、時おり、イベント開催最中に顔を出す。ぬらりひょんとはこの者たちを指す。

水／水道水はつながっておらず、貯水を使用している。決して飲めるようなものではなく、ボーフラが入っているという噂がある。このことは、事前に参加者に伝えて注意しているが、早朝この水で水浴びをしたという馬鹿がいる。

風呂／無い！

便所／汚い！（しかも水洗ではない）

こんな事を書いてしまうと、「ひどい場所で開催しているなぁー」と思われるでしょうが、これらの不便さはスタッフの努力で極力カバーしてきたつもりです。今回のイベントもこの『神戸市立・若者の家』を使用することになっても皆様に喜んで参加して頂けるよう努力します。ただし、この施設を利用すれば参加費は安いです。

そこで、今回イベントの開催場所変更についてアンケートを取りたいと思いますので御協力ください。

アンケート

【1】開催場所の変更についてのアンケートです。
適切と思われる方に○を記入して下さい。

＊若者の家（従来の開催場所）

概要

場所に問題がありますが、過去４回の開催でスタッフの方もその不便さを補っています。不便な分利用金が安く、今回参加費六千円で宿泊費、食費、宝塚ファミリーランドの入園料、集合場所から現地までの交通費が含まれます。また、スタッフが作る食事が味わえたり、キャンプ気分を満喫できます。参加人数も特に制限無し。

＊新宿泊施設

概要

場所は宝塚ファミリーランド付近で、設備も整っており、風呂はあるし冷暖房完備。但し、利用金が高いので参加費六千円で宿泊費と食事代のみ。交通費、ファミリーランドの入園料などは自己負担となります。そして参加人数が限定され、参加費全額前払いとなります。

‡必ず記入して下さい。参加予約される方は○を記入して下さい。

会員№	氏名
住所　〒	
参加予約します　・　参加予約しません	

【フハッ】第34号《水伝お化け旅行in Winter特集》
平成６年４月１５日発行

表紙イラスト／No.１６４　吉田 良恵

今月のラッキーガール/No.３３　佐々木智美（入試合格おめでとう）

担当／馬場茂幸、米吉和久、瀬戸信行
佐藤公紀、佐々木卓、竹内　丈
岩松真澄、幸治　亮

協力／吉田温代、吉田良恵、岸本倫太郎
竹本未礼

多謝／水木しげる先生、水木プロの皆様
高見正人（日本コロムビア　ビデオ部ディレクター）
神戸新聞社　吉岡様
神戸市立若者の家

印刷／プリントハウス

制作・発行／水木しげるFC・水木伝説
〒654－01　神戸市須磨区北落合三丁目38－217－709　馬場方

↙ハガキを線から切り離して使用してください。冊子を切り抜くのが嫌な方は、普通の官製はがきに書き直して送って下さってもかまいません。

おそれいります
が50円切手を
お貼り下さい

〒654－01
神戸市須磨区北落合三丁目三八番地二一七号七〇九

水木しげるFC・水木伝説様